

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

NO.
249

2012
JULY

Brilliance
輝くひと
81

障がいのある人が
「特別」じゃない社会を目指して
NPO法人「ゆに」代表 佐藤 謙さん（09産社）

巻頭
特集

立命館での 教育にかける思い

薮中三十二・上野千鶴子特別招聘教授に訊く

03 巻頭インタビュー

立命館での教育にかける思い

薮中三十二・上野千鶴子特別招聘教授に訊く

国際関係学部 特別招聘教授

薮中三十二

先端総合学術研究科 特別招聘教授

上野千鶴子



SPECIAL

01 輝くひと

佐藤 謙 さん



08 震災関連記事

手仕事からはじまる被災地の生活再建

NPO法人「テラ・ルネッサンス」理事 鬼丸昌也 さん

10 立命館大学校友会東日本大震災義援金について

11 校友会報からひとく校友会の歩み

12 りつめいフレンドシップインタビュー

13 校友会・グループインフォメーション

14 校友会ネットワーク

15 校友会奨学金授与式が開催されました

16 校友NEWS

18 「オール立命館校友会大会2012in新潟」のご案内

20 2012年度校友会幹事会報告

22 立命館の研究者たち

スポーツ健康科学部 家光素行 准教授



24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

渡邊大規さん



30 INFORMATION

31 編集室から

｜ 輝くひと ｜

NPO法人「ゆに」代表

佐藤 謙 さん

(’09産社)



障がいのある人が

「特別」じゃない社会を目指して

「やりたいことができる。行きたいところへ行ける」。障がいを持つ学生やサポーター学生への支援を行なうNPO法人「ゆに」のコンセプトだ。進行性筋ジストロフィーという障がいを持つ代表の佐藤謙さんが自らの経験を生かして立ち上げた。「障がいのある人が、障がいによって、思い描いた生活をあきらめることのないよう支援したい」。

小学3年生で車椅子生活に。現在は人工呼吸器を付け、日常生活のあらゆる面で介助が必要だ。病院に入院しながら通った総合支援学校では、たった一人の同級生と6年間を過ごした。「友達をたくさん作って世界を広げたい」。周りは反対したが、自分の思いに忠実に大学進学を決めた。

入学してみると介助等の仕組みは整備されていない状態。「自分で作るしかない」と、母親と二人で支援の呼びかけから始めた。必死に活動する姿は周囲を動かし、翌年、学生有志による障がい学生支援団体が発足。その後大学に専門窓口の障害学生支援室が設置された。'08年、基準該当居宅介護事業所「サポート・けん」を自ら設立し、在宅で人工呼吸器を付けて大学生活を送り、「6年で卒業」という目標を達成した。そして'11年、「ゆに」をスタート。「家族や友人、みんなに支えられ大学生活を全うすることができた。障がいを持つ大学生やこれから大学入学を望んでいる人を、今度は僕が支えたい」。

主な事業は障がい学生支援のほか、障がいのある修学旅行生への支援やホームヘルパーの派遣など。介助者の養成にも力を入れ、訪問介護ヘルパーの資格が取れる「重度訪問介護従業者養成研修」も開催している。登録スタッフ約30名のほとんどが学生だ。同世代による支援「ピア・サポート」が「ゆに」の特徴。支える側、支えられる側が同じ世代ということで、寄り添いながら学び合って成長できると考えている。

「やりたいことをできるようにするためにどうすればよいのか、障がいのある人が『特別』じゃない社会を目指して、支援を受ける人と一緒に考えながら歩んでいきたい」。

立命館での 教育にかける思い

薮中三十二・上野千鶴子特別招聘教授に訊く

個性あふれる研究者がそろう立命館の教授陣。

一昨年、元外務事務次官の薮中三十二氏が国際関係学部にも、そして今春、
社会学者の上野千鶴子氏が先端総合学術研究科にそれぞれ特別招聘教授として着任し、

立命館の教育に携わることになった。

長い間自らの現場を歩んできた著名な研究者である両氏に、

立命館での教育にかける思いをインタビューした。

国際関係学部 特別招聘教授

薮中三十二



先端総合学術研究科 特別招聘教授

上野千鶴子



日本の輝ける未来のため、 「世界」に夢を描ける若者を育てたい

2010年10月、国際関係学部特別招聘教授に就任した元外務事務次官の数中三十二氏。
日本、そして世界の将来を担う「若者の力」に熱い視線を送り、
長年にわたる外交の現場での経験を学生たちに余すことなく伝えている。

国際関係学部 特別招聘教授

数中三十二

世界で通用する言葉を持った人に

私が青春時代を過ごした'60～'70年代、若者は誰しも世界に夢を抱き、世界を舞台に活躍することを目指していました。いま時代は変わり、世界は若者にとって必ずしも夢を描く対象ではなくなっている。けれどこれからの日本には、若者がよりいっそう意欲を持って世界とのかかわりを持つことが必要です。40年余りの間、海外の国々と渉り合ってきた自らの経験を若い人たちと共有すれば、日本の将来に役立てることができるかもしれない。学生たちと互いに刺激し合うことは自分にとっても新しいチャレンジになると考え、立命館の教壇に立つことにしました。

国内の経済が先細りしていく今、日本が生き抜くためにはグローバルな勝負をしていかなければならない。では、世界で勝負ができる「グローバルな人」とはどんな人材なのか。私は「ロジックを持って、はっきりとスピークアウトし、その結果として『アウトスタンディングなパフォーマンスをした』と言われる人」だと考えています。これ

は、わざと英語で表現しているのですが、日本語では「理屈っぽく、口数が多くて、目立ちたがり屋」となり、日本の美徳で捉えるとずいぶん聞こえがよくない(笑)。けれど国際社会では自分の考えをうまく表現することがなによりも大切です。ものづくりについて言えば、これまでは、もの自体が良ければ評価されましたが、今はもの自体の良さにコンセプトなどを加味したものでないといけない。相手に魅力を伝える「言葉」がますます必要な時代、語学力と言う意味だけでない「世界に通用する言葉」で自分の意見を伝えられる人が求められています。

国際社会に必要な コミュニケーションスキルの習得を目指す

中国や韓国からの留学生はとにかく積極的で、授業中でも目の色が違う。国際関係学部の良さは、そんな留学生の姿勢に刺激を受けて日本人学生も積極的になっているところです。今の学生



は少し良い子すぎるところがあり、もっと大胆に自分の考えを相手にぶつけてもいいのではないかなと思うこともありますが、そんな中、立命館には自分のやりたいことをはっきりと言える学生がいる。活気に満ちたその姿はとても心強いですね。

「現場での外交を知りたい」という熱意を持ってやってくる学生が多く、授業では「学問としての外交」と「実際の外交」とをバランスよく学べるように心がけています。現在、学部や大学院で三つの講義を担当していますが、どのクラスでも必ず言うのは「しっかりと自分の考えを持って、それをスピークアウト(発言・発表)しろ」ということ。すべて英語で行なう授業がありますが、プレゼンテーションは決してネイティブだから有利というわけではありません。大事なのは上手に話すことではなく、自分の考えとその理由を明確に相手に伝えるということ。多少文法的な間違いがあっても構わないから、考えていることをはっきり言えばよいのです。もちろん初めは簡単ではありませんが、学生たちは回を重ねるごとに成長し、講義終盤には1回生でも北方領土や北朝鮮問題などについて英語できちんと自分の考えを発表できるようになりました。感激しましたよ。指導する立場としても非常にやりがいを感じています。

交渉術においては、自分の意見をとにかく主張して相手を自分のペースに巻き込んでしまうという方法を探ることもある。また、日本では相手を攻撃するということはあまりありませんが、相手の問題点を指摘することも、自分の意見を伝えるのと同じように大切なこと

です。学生たちには、国際社会で必要なコミュニケーションスキルの習得を通して、グローバル社会に生きる一員としての心構えを育んでもらいたいと思っています。

「明日へ」の気持ち、持ち続けて

これまで私がいた外交の世界では「交渉」という場面が多く、どうすれば日本にとって最善の形で交渉成立できるかを常に考える必要がありました。そんな時に大きな力になっていたのは「愛国心」。今の若者にとっては「愛国心」など古くさい話かもしれませんが、世界とかかわればおのずと母国を愛するようになるもので、それが根底にあるからこそ世界と対等に向かい合い、信頼関係も築くことができます。国際社会と関わっていくのに不可欠なこの愛国心、「patriotたれ」についても、学生たちと大いに議論を深めてみたいと思っています。

日本ではいま、グローバルに生きることが求められている。おそらくそれは学生も分かっているのですが、どうすればよいのかはまだ分からず模索している状態なのだと思います。そんな学生たちに、経験をまじえた生きた話題で「グローバル」とはどういうことかを伝えていきたい。「明日へ」という気持ちで、若者たちがこれからも前へ進み続けてくれることを期待しています。



Profile : Mitoji YABUNAKA

1948年、大阪府出身。69年に外務省入省。外務省では、シカゴ総領事や、北朝鮮問題を協議する六カ国協議の日本首席代表などを務め、2010年8月に外務事務次官を最後に退官。2010年、立命館大学国際関係学部特別招聘教授に就任。外務省顧問(現職)。主な著書に『国家の命運』(2010)など。



問いを抱えてやってきた人の アウトプットを手助けしたい

私が立命館に魅力を感じた理由は、先端総合学術研究科（先端研）の「生存学」というユニークな取り組みに研究者として共感したこと。そして社会人学生が多いということ。先端研の特徴でもあります。大学院生でも社会経験が豊富で、自分の「現場」を持ち、そこで問いやこだわりを抱えて学びに来ている。そんな方々が持つ「問い」をアウトプットしていく手助けをしたいというのが、私が立命館で指導することを選んだ大きな動機です。私は「でもしか」で教員になった人間ですが、教員というものはなってよかったと心から思える職業です。誰よりもフレッシュな経験を持ち込んできてくれる学生という存在と触れ合うことができ、その学生たちが育っていく姿を自分の目の前で見るができる。そんな何事にも代えがたい経験が与えられるからです。

学生時代を過ごした京都に再び縁ができるということのも魅力の一つでした。「クオリティ・オブ・ライフ」という点では、京都はローマやパリといった国際都市に匹敵する世界有数の都市だと思います。ヒューマンスケール、そして地方都市でありながらほかの地方都市にはない歴史と文化の洗練度がある。今はNPOの代表を兼務している事情もあり、東京に拠点を置っていますが、もっと歳

実践に理論を融合し、ほかにはない オリジナルな情報の生産者に

女性学やジェンダー論研究で知られる社会学者の上野千鶴子氏。

近年は、福祉やケアなどの領域にも研究の幅を広げ、

当事者の経験から共有の知を探る「当事者研究」の重要性を訴えている。

今春、立命館大学先端総合学術研究科特別招聘教授に就任。

同研究科や生存学研究センターでの、「現場」を持つ学生たちとの学びに期待を寄せている。

先端総合学術研究科 特別招聘教授

上野千鶴子

をとった時には京都に住むのもいいなあと思っています。

当事者研究から見えてくる新しい社会

女性学をはじめとした当事者研究の「当事者」とは、ニーズを持った人のこと。ニーズとは、「必要」や「不足」という意味です。なにかを考えるとき、そこにあるものを考えるよりも、ないものを考える方が難しい。何が足りないかを考えるには、その足りないものがあるという状態を想像できる力や構想する力が必要です。つまり、ニーズを持つ人＝当事者とは、現状に満足せず、足りないことを要求することができる人のことです。何が足りないかが分かれば、社会が誰にとって有利に出来ているのかが分かります。当事者研究は、現在の社会に必要な新しい知恵をわたしたちに指し示してくれるのです。

近年、当事者研究は介護や福祉の分野でも広がりを見せています。流行りのように見られることもありますが、私たちが40年も前からやってきた女性学こそ当事者研究。男性が女性を定義する「女性論」に対して、「女がどういう生きものかは私の方が良く知っている。なぜなら私は女だからだ」と言ったのが「女性学」です。女性学は主観的で、学問とは言えないと非難されることもありましたが、しかし、女性学が客観的でないとする立場の主張もまた、客観という言葉で隠蔽した別の主観でしかありません。女性学は、学問の中立・客観性という「神話」と闘ってきました。強い立場の人（主として男性）たちが自分たちの主張を主観と言わず、客観と呼んできたそれまでの学問に、「当事者でなければ分からないことがある」と当事者の主観的な立場を主張し、「自分以外の人間に自分の代弁をさせない」と宣言したのが当事者研究です。

私自身、女性学に出会うまでは、「学問とは、社会学とは、なんてつまらないんだ」と思っていました（笑）。ところが20代の半ばに欧米から日本に入ってきた女性学を知り、「学問の名のもとに自

分自身を研究の対象にしてよいのか」と目からウロコの経験をし、生まれて初めて心の中からわきあがる「問い」というものが出てきました。研究を進めると壁に当たることもあります。自分を捕らえて離さない「問い」があったから、くじけることはありませんでした。女性学に出合っていなければ、今のような研究者の道に進んでいなかったと思います。

必要なのは、知識ではなく「メッセージ」と「ツール」

これからの社会に必要なのは「メッセージ」と「ツール」、その両方を持った人。立命館の学生には「現場」発のメッセージをすでに持っている方が多いので、そんな方にはツール＝方法を手に入れてもらいたい。ツールを持った人とは、根拠のあることをちゃんと主張できる人のこと。そうなるためには、問いを立てるスキル、調査するスキル、調査したものをアウトプットするスキル、アウトプットしたメッセージを伝えるスキルと、いくつかのスキルを総合して身につけなければなりません。また、メッセージというのは相手に伝わってこそ意味があるので、伝えるための言語能力である書き言葉と話し言葉を両方とも身につける必要があります。私の授業ではこれらすべてを徹底的にトレーニングします。実践を重ねて身につけたスキルは、現場に戻った時にも必ず役に立つはず。これから研究者の道を目指す人、研究者の道を歩み始めた人が、たとえどんな拙いものであろうとも、オリジナルな情報を発信できる人になってくれることを願っています。

現在私たちが目の当たりにしている高齢化社会は、人類史上未曾有の経験。誰もまだ経験したことのないことの連続です。日々新しい経験が登場するので、大学院生にとっても私にとってもみなスタートラインは同じ。やることが山のようにあります。ここ先端研で最前線の研究に取り組めることを一人の研究者としてとても楽しみにしています。

Profile : Chizuko UENO

1948年、富山県出身。京都大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程単位取得満期退学。女性学、ジェンダー論、家族社会学などを専門とする社会学者。20年近く教鞭を執った東京大学を昨年退職し、2012年立命館大学先端総合学術研究科特別招聘教授に就任。2011年度朝日賞受賞。女性のための情報を提供し、活動をつなぐNPO法人「Women's Action Network (WAN)」理事長、東京大学名誉教授（現職）。『おひとりさまの老後』（2007）、『ケアの社会学—当事者主権の福祉社会へ』（2011）ほか著書多数。



手仕事からはじまる被災地の生活再建



特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス創設者・理事
鬼丸昌也 さん
(’03法)
Masaya Onimaru

Profile

1979年、福岡県生まれ。2001年、大学在学中に「全ての生命が安心して生活できる社会の実現」を目指す「テラ・ルネッサンス」を設立。2002年、(社)日本青年会議所人間力大賞受賞。地雷、子ども兵や平和問題を伝える講演活動は、学校、企業、行政などで年120回以上。著書に、『ぼくは13歳 職業、兵士』(2005)、『こうして僕は世界を変えるために一歩を踏み出した』(2008)がある。

「刺し子」で

生きる希望を取り戻す

「大槌復興刺し子プロジェクト」は、被災した岩手県大槌町の女性たちにコースターや布巾へ「刺し子」刺繍をしてもらい、それを買い取って販売した売り上げの一部を作り手の「刺し子さん」の収入とする事業です。

震災後、大槌町で支援活動が続いていた個人ボランティアたちが気付いたのは、震災で家や職場を失くした女性たちが「なにもすることがない」

と無力感を感じているということでした。働くということは、お金を稼ぐことであるだけでなく、自分の能力や可能性を生かして社会の役に立つことでもあり、それがなければ本当の復興はあり得ません。そこで立ち上げられたのが、東北地方に伝わる伝統技術「刺し子」を生かした同プロジェクトでした。

刺し子をしていると作業に集中して震災の日の記憶を忘れられるという人。刺し子の仕事を始めて自分にもまだできることがあると自信を取り戻した人。プロジェクトを通して、刺し子さんたちが生きがいや希望を取り戻していく姿がたくさん見られました。製品の買い取りや技術講習のための集まりは、刺し子さんたちが情報交換をしたり、体験を語り合って悲しみや不安を癒したりする

場になっています。刺し子プロジェクトは、被災した方の経済的な支えとなるだけでなく、心のケアとしての機能も果たしているのです。

一針ずつ心を込めて作られた刺し子製品は、イベントやインターネットを通じて販売しています。たくさんの方の支えがあって、数名から始まったプロジェクトも今では約170名の登録があり、今年2月末までの売り上げはおよそ7,100枚、約480万円が刺し子さんの収入になりました。

心のケアだけでなく

地域の雇用や産業の創出も目指す

大槌町の鳥、かもめをモチーフにしたデザインは、プロジェクトのコンセプトに賛同してくださったプロのデザイナーによるもの。こういった趣旨の商品は「同情買い」が多いのですが、大槌刺し子の場合は商品自体を気に入って購入される方も多い。それは大変ありがたいことで、私たちが望んでいることでもあります。なぜなら、私たちは事業を通じて心のケアだけでなく、現地の雇用の促進や、衰退しつつある手工芸の産業化も目指しているからです。だからこそ商品自体やプロジェクトのコンセプトに魅力を感じて手に取っていただけるものでなければなりません。このプロジェクトを始める前に、テラ・ルネッサンスは被災地への支援を10年間続けることを決めました。刺し子プロジェクトについては、将来的には別法

校友の鬼丸昌也さん(’03法)が創設した「テラ・ルネッサンス」は、「地雷・子ども兵・小型武器」の三つの課題解決を目指して海外や国内で活動するNPO。東日本大震災に際して、テラ・ルネッサンスは発生後間もなく支援活動を開始し、その取り組みの一つ「大槌復興刺し子プロジェクト」では、被災した女性たちの生活再建を目指して新しい仕事を生み出そうと動き出しています。

人化して、現地の職員または現地で採用された職員だけで運営していきたいと考えています。

製作に関してのノルマはなく、刺し子さんの自発性に委ねています。刺し子さんの中には、多い時で月に約9万円を稼ぎ、生活再建への大きな一助とされた方もいらっしゃいます。今後この仕事を本業とする方もいらっしゃるかもしれません。一方で、純粋な楽しみとして続けていく方もいらっしゃるでしょう。プロジェクトに関わる目的は人それぞれでよいのです。人には一人ひとりに未来を作る力がある。その可能性を引き出す「場＝きっかけ」を提供することこそ私たち非政府組織(NGO)の仕事だと思っています。

受け手と送り手、支援は常に対等

刺し子プロジェクトは、これまでものを製造・販売するという経験のなかったテラ・ルネッサンスにとっても新しいチャレンジで、法人として大変良い経験になりました。また、この1年間で支援本来のあり方というもの学ぶこともできました。刺し子プロジェクトを含めたテラ・ルネッサンスの被災地復興支援事業「ともつな基金」を立ち上げたきっかけは、ウガンダやカンボジアなど、私たちがこれまで支援活動を行ってきた世界の国々の人たちが、被災地支援のために自分たちのお金を集めて送ってくれたことにありました。支援とは、力の強い人や富む人が、弱い人や貧しい人を支えるということで

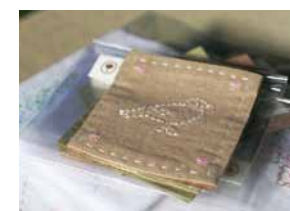
はありません。対等なものなのです。支援する側もされる側も「支援」を通じて学んで、成長し、社会を改善することが出来る。支援する側でストーリーを作り上げることなく、現場の思いや願いにどれだけ寄り添う勇気があるか、それが試されていると感じました。

被災地から離れている私たちに大事なことは三つ。一つ目は「忘れないこと」。忘れないために知る努力をすること。二つ目はそこで生きている人のことを思って「祈ること」。三つ目はとにかく自分にできることでいいから「行動すること」。今回の震災は、私たち自身のあり方を見直すきっかけになりました。人口減、税金減で、官だけで公を担うことが難しいこの時代に震災が起き、自治のあり方を見直すことが求められています。それを問い直さないとするならば、私たちは震災からなにも学ばなかったことになるでしょう。

現在は、コースター、布巾、Tシャツ(各2種類)を販売している。
「大槌復興刺し子プロジェクト」および、大槌刺し子製品についての問い合わせは
e-mail:order.otsuchi.sashiko@gmail.com
TEL:0198-68-3370(月～金曜11:00～17:00※祝日除く)
HPは<http://tomotsuna.jp>



刺し子製作の様子



コースター

立命館大学校友会東日本大震災義援金について

2012年2月1日～4月30日に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

卒業 50 周年記念祝賀会参加者（13 名）

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

合計 7,204,287円 2012年4月30日現在

（ 個人 2,154名 2,751,483円 ）
（ 団体・グループ 163件 4,452,804円 ）

東日本大震災復興支援特別委員会の決定に基づき、以下の通り義援金の第二次配分を行ないました。

- 時期：2011年12月7日送金
- 金額：4,400,000円
- 配分先と内訳：岩手県校友会 1,000,000円、宮城県校友会 1,700,000円、福島県校友会 1,700,000円

義援金募集

被災された校友の方々に少しでもお役立ていただくために、引き続き、全国の校友の皆様を対象に、義援金を募集しております。ひとりでも多くの皆様の温かなご支援・ご協力をお待ちしております。

■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

<個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部＝ホウ	経済学部＝ケイザイ
経営学部＝ケイエイ	産業社会学部＝サン
国際関係学部＝コク	文学部＝ブン
政策科学部＝セイ	映像＝エイソウ
理工学部＝リコウ	情報理工学部＝ジョウリ

<団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この義援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行ないません。予めご了承ください。

ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル0120-252-094）までご連絡ください。

■ 受付口座は以下の3つです

【受付口座1】

京都銀行：二条駅前支店

（普）1020251 （銀行コード0158：店番コード129）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座2】

京都中央信用金庫：三条支店

（普）1180144 （銀行コード1611：店番コード006）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「義援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、ATM利用の場合は手数料が発生します。

【受付口座3】

みずほ銀行：京都中央支店

（普）2361818 （銀行コード0001：店番コード473）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座4】

ゆうちょ銀行口座間の振替、窓口備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合は以下へお願いいたします。

口座記号・口座番号 00900-1-288651

口座名義（加入者名） 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

他行からの振込の場合は以下へお願いいたします。

ゆうちょ銀行：〇九九店（当）0288651

（銀行コード：9900 店番コード：099）

口座名義 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

2012年度 立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業

東北応援ツアー 参加者募集!!

2012年の復興支援事業の一環として、全国の校友を参加対象とした「立命館大学校友会 東北応援ツアー」を実施します。

（参加対象は立命館大学の校友のみ）

趣旨・目的は以下のとおりです。

- ①被災地（特に被災地の校友が経営・勤務する店舗や施設）を訪れることで、被災地の活性化に貢献すること。
- ②全国の校友が被災地を訪れ、また被災した校友と交流することを通して東日本大震災について学ぶ契機とすること。

詳しくは会報「りつめい」249号に同封のチラシをご覧ください!



校友会報からひもとく 校友会の歩み

2019年に校友会は“100歳”になります

校友会報「りつめい」第1～10号 1973年6月～1975年12月発行



「りつめい」発進

「立命」から「りつめい」へ。1973年には新しい「りつめい」がスタートしました。現在の会報と同じ、末川博名誉総長による題字が誌面の表紙を飾るようになったのは当時から。表紙に写真をあしらうようになり、第1号、第2号では当時新しかった衣笠校舎が一面に映し出されています。モノクロの写真からは色合いまでは分かりませんが、それは40年後のいま私達が目にしている姿そのもの。誌面の判型もB5判へとひと回り大きくなりました。6、10、12、3月の年4回発行も現行とほぼ同じで、近年の「りつめい」に馴染んだ私たちにも親しみのあるものです。

新しくなった「りつめい」では、人物紹介のコーナー「プロフィール」が連載されるようになりました。現在の会報で連載している「りつめいインタビュー」の前身となるコーナーのようです。第1回に登場しているのは、当時の南海電鉄社長の川勝傳さん。以降も京都中央信用金庫理事長の西村清次さん、京都駅長の今崎一明さんなど、各界のトップや個性的な活動をしている



「プロフィール」記事

校友が登場し、多彩な校友の存在を知ることができる大変興味深いコーナーです。

第2号では「校友会全国大会へのいざない」と題した寄稿記事が掲載されています。「私達、立命館大学という共通の場で学び卒えた、数多くの校友、私達は、その不変のつながりを、いつまでも大切にしたいと思うのです。そしてそのつながりを、校友大会と言う、年代をこえためぐり逢いの日に、より深めることが出来たら、そして、数多くの見知らぬ校友と語り合う事が出来たら、それは生きている事の素晴らしささえ、感じさせてくれるでしょう」と読者へ大会の魅力を語りかけます。毎号の告知と熱心な呼びかけの甲斐あって、この頃には毎年500～600人の参加を得られるようになりました。

また、3月発行号では新校友歓迎号と銘打って、ページ数を3倍に増やし、新たに校友となる読者に向けて、校友会の組織や活動について丁寧に説明する特集も組んでいます。当時、立命館大学は衣笠学舎に全キャンパスを統合する衣笠一拠点構想の実現に向けて取り組んでいるところで、第3号では細野武男総長(当時)にその構想について尋ねるインタビュー記事が大きく取り上げられました。

第3号の編集後記より(抜粋)

校友会機関誌としては、校友会独自の記事が何よりも必要であるし、また、校友の共通の環としての母校の動向についての記事も必要なものであると考える。それに寄付の依頼もときには載せなければならない。今回の号は「校友大会」記事と「一拠点」問題とが中心になった。(中略)(校友)大会に参加した関係か、久し振りに高校時代の担任のK先生のことを思い出した。(中略)木造校舎時代の理工学部で学ばれた先生が「りつめい」を読んでおられるならば、第一号および第二号の巻頭を飾った衣笠のあの近代的な学舎のたたずまいの写真を如何なる感慨を抱いて見ておられることだろうか。

りつめい フレンドシップインタビュー

校友会が生んだ思いがけない出会い！

校友会参加を機に出会った二人がその共通点に意気投合一。各地で開催される校友会の総会や催しでは、思いがけない出会いが生まれることがあります。今回は、香川県校友会で「ダブルゆめコンビ」として知られ、若手校友を代表して会を盛り上げる新谷夢さんと古市佑芽さんのエピソードをご紹介します。



お二人の出会いはずごくユニークだとお聞きしています。

新谷 2010年に県の総会に参加したのが出会いのきっかけでした。私たちにはたくさん共通点があって。まず、名前が同じ「ゆめ」。共通の友人がいる。職種も同じ銀行業で、業務担当も同じ外回り。香川県にある二つの地方銀行にそれぞれ就職していて、隣り合った支店に勤務していたこともあります。

古市 実は小学校の頃に通っていた書道教室も同じで、思い返すとその時から二人の間はつながっていたんです。私は一方的に新谷さんのことを知っていました。でも、家が徒歩3分の距離にありながら、小・中・高の間はずっと別の学校に通っていたので一度も接点のないまま大きくなって。同じ大学に通っていたなんてまったく知りませんでした。卒業後に参加した校友会でようやく正式に出逢えた（笑）。

新谷 こんなに共通点の多い人が、こんなに近くにいるなんて。本当にびっくりしました。

校友会に参加したきっかけは何だったのでしょうか？参加したご感想は？

新谷 私はもともと学生時代にリコネクト^(※)に所属していたのですが、卒業したら地元に戻るので、地元でも大学に関係した活動はできないかと思っていたんです。そんな時に香川県校友会の穴吹事務局長が県の校友会を紹介してくださって。校友会のパーティーのお手伝いもさせていただくようになり、幹事として飲み会の企画もしました。人



を呼び込んだり、イベントを催したり、校友会には自分で企画して新しいことが出来るチャンスがあるのが魅力です。

古市 私は基本的に情報に疎く、正直言って校友会というものがどんなものなのかあまりよく分からなかったので、まさか自分が参加するだろうとは思ってもみませんでした（笑）！でもそんな人が参加しても十分楽しめる。幅広い年齢層の方とお話できるのは勉強になるし、香川にいながら大学を共通点にしてつながることができるのはやっぱり楽しい。参加してよかったと思いました。

嬉しいお言葉ですね。あとどんなことがプラスされれば校友会はもっと良くなると思いますか？

古市 香川県の校友会は素晴らしくて、会のあり方としてこれ以上求めるようなことは何もないんです。若い人やまだ参加したことがない人がどうすれば気軽に参加しやすくなるかとすごくよく考えられている。あとは認知度さえ上げていければ……

新谷 香川県校友会には、私たちが何かをしたいと思った時に、いつも背中を押してくれるような手厚いサポートがある。校友会をもっと知ってもらえるように、私たち若手も周りへの声かけがうまくできたらいいなと思います。私は6月から今の職場を離れ、父の仕事を手伝うために地元を離れることになりました。せっかく古市さんとも出会えたのに、これからはあまり校友会に参加できなくなるのは残念ですが、古市さんに次期幹事を託して私の分まで頑張ってもらいたいと思います！

古市 新谷さんの分まで、これからは私ができるだけ参加していきます。校友会は、参加に踏み出す一歩が難しい。だからこそきっかけ作りが大事。職場にも立命卒の後輩たちがいるので、まずは身近なところから声をかけてみようと思います！

※校友会の若手校友活性化事業。リ（再び）・コネクト（つながる）。



新谷 夢（しんたに ゆめ）さん

‘10経営卒。銀行員（香川銀行）。大学時代はESSに所属。海外への関心が高く、卒業前の2カ月間で世界一周ひとり旅を敢行した。最近ではまっているのはクロスバイクでサイクリングすること。



古市 佑芽（ふるいち ゆめ）さん

‘10法卒。銀行員（百十四銀行）。大学時代に2カ月間、北海道で昆布干しのアルバイトをしたことが学生時代の忘れられない思い出。地元サッカーチーム「カマタマーレ讃岐」の応援にはほぼ駆けつけている。立命館出身の石田英之選手のファン。

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先
法学部同窓会総会・懇親会	6/30 (土) 13:00	京都ロイヤルホテル&スパ	法学部同窓会事務局 075 (465) 8175
映像学部同窓会交流企画	6/30 (土) 18:00	TORO新宿	映像学部事務局 075 (465) 1990
立命京滋観光の会20周年総会	7/2 (月) 18:00	ホテル京阪京都	王本 智久 (職) 077 (567) 1519
大阪校友会年次大会	7/6 (金) 18:30	ザ・リッツ・カールトン大阪	立命館大阪キャンパス 06 (6360) 4895
岐阜県校友会総会	7/7 (土) 16:00	岐阜都ホテル	房野麻紀子 (職) 0584 (74) 3036
愛媛県校友会総会	7/7 (土) 17:00	松山全日空ホテル	石田 二郎 089 (925) 2547
山口周南地区校友会総会	7/7 (土) 18:00	ホテルサンルート徳山	小西ヨシ子 0833 (41) 0412
立命電友会20周年総会	7/7 (土) 13:30	京都全日空ホテル	立命電友会事務局 077 (561) 2662
法学部商法塩田ゼミOB会	7/7 (土) 16:00	京都ホテルオークラ	川端 豊 090 (7367) 7300
八幡支部総会	7/8 (日) 10:00	八幡市福祉センター	岡島 完治 075 (983) 3063
香川県校友会総会	7/14 (土) 16:00	ホテルパールガーデン	穴吹 学 087 (862) 3565
徳島県校友会総会	7/14 (土) 17:00	阿波観光ホテル	鎌田 啓三 088 (664) 2344
立命館清和会総会	7/21 (土) 16:30	ウエスティン都ホテル京都	立命館清和会事務局 075 (645) 1051
全国行政書士立命会総会	7/21 (土) 13:00	朱雀キャンパス	安澤 英治 090 (7753) 3064
静岡県校友会総会	7/22 (日) 15:00	クーポール会館	大石 育三 0545 (63) 8984
岡山県校友会総会	7/22 (日) 17:00	アークホテル岡山	守屋 博司 (職) 086 (232) 0945
青森県校友会総会	7/28 (土) 15:00	ウェディングブラザ「アラスカ」	船水 重利 017 (722) 2926
秋田県校友会総会	7/28 (土) 15:00	パーティーギャラリーイヤタカ	今野 謙 018 (831) 1250
兵庫県校友会新人歓迎会	7/28 (土) 12:00	湊川神社	寺田 豊 terada@sonoda-u.ac.jp
衣笠交響楽団第20定期演奏会	7/28 (土) 19:00	京都コンサートホール	木邨 哲也 090 (7706) 1206
宮城県校友会総会35周年	7/29 (日) 16:30	仙台ガーデンパレス	柏原 晋 022 (286) 9928
神奈川県校友会総会30周年	7/29 (土) 14:00	崎陽軒本店	野口 邦夫 080 (6721) 0071
沖縄県校友会総会	8/4 (土) 18:00	ホテルロイヤルオリオン	島袋 健 090 (7587) 0858
2012ALL立命館交流パーティー in北海道	8/25 (土) 13:00	立命館慶祥中高 高校棟前芝生広場	立命館慶祥中学校・高等学校 011 (381) 8888
広島県校友会設立60周年記念大会	9/1 (土) 15:30	ホテルグランヴィア広島	田中 龍次 082 (928) 0132
熊本県校友会総会	9/1 (土) 17:00	熊本市役所14階 ダイニングカフェ彩	飯田 俊之 (職) 096 (326) 8625
湘南クラブランチ会	9/2 (日) 11:00	鎌倉芸術館カフェレストランパウゼ	茂山 哲也 045 (852) 4562
新田村会総会・田村行政法ゼミOB会	9/9 (日) 14:00	衣笠キャンパス末川記念会館	北出 博通 0774 (54) 2597
福井県校友会総会	9/30 (日) 12:00	ユアーズホテルフクイ	古村 隆一 0776 (98) 4671
オール立命館校友大会2012in新潟	10/6 (土)	朱鷺メッセ	校友会事務局 075 (813) 8216
茨城県校友会総会	10/6 (土)	朱鷺メッセ	木村 幸夫 029 (252) 8401

「大阪茨木立命会(仮称)」が新たに発足します!

2015年春、立命館大学の新キャンパスが開設される大阪府茨木市に、地域校友会組織『大阪茨木立命会(仮称)』が、新たに誕生することになりました。このほど設立準備会が発足し、今年秋の設立総会開催を目指して準備が進められています。

設立総会は2012年10月21日(日)11時より、茨木市役所9階「スカイレストラン」にて開催予定。当日は、「立命館大阪茨木キャンパスの展開構想」についての講演も計画されています。なお『大阪茨木立命会(仮称)』は、茨木市内在住、または茨木市内に勤務、また

は同会活動にご関心がある方であればどなたでもご参加いただけます。

参加のご希望、また詳しい内容などを知りたい方は、下記設立準備会事務局までお問い合わせください。

大阪茨木立命会(仮称) 設立準備会事務局

担当: 佐藤 眞生(さとう まお)さん('62法)
FAX: 072-636-0394 E-mail: mao-s@hcn.zaq.ne.jp
携帯: 090-7119-7331

都道府県校友会

- 5/12 奈良県校友会総会
(220名・天理教第38母屋)
- 5/26 三重県校友会総会
(155名・松阪フレックスホテル)



奈良県校友会総会

海外校友会

- 3/3 インド校友会総会
(8名・Restaurant de Seoul)



インド校友会総会

地域校友会

- 4/22 奈良県北部校友会(立命若草会)総会
(100名・ホテル日航奈良)
- 5/13 兵庫県校友会西宮支部総会
(31名・日本盛 酒蔵通り煉瓦館)
- 5/25 佐世保比叡会総会
(20名・セントラルホテル佐世保)
- 5/27 福知山校友会総会
(25名・たかた荘)



奈良県北部校友会総会



兵庫県校友会西宮支部総会

職域校友会

- 2/19 兵庫県社会保険労務士立命会設立総会
(15名・東天紅)
- 2/24 愛知銀行立命会懇親会
(25名・名古屋国際ホテル)
- 2/25 衣笠会(京都府技術職員校友会)
(40名・御所西京都平安ホテル)
- 2/25 弁理士校友会総会
(15名・大阪市西区)



愛知銀行立命会懇親会

- 2/25 宮崎県校友会県北校友会
(30名・ホテルメリージュ延岡)
- 3/8 Rits不動産ネットワーク例会
(58名・京都タワーホテル)
- 5/30 西宮市役所立朋会総会
(43名・雅苑西宮)



Rits不動産ネットワーク例会

サークルOB・OG会

- 2/19 写真研究会OB会総会
(29名・レストラン菊水)
- 3/17 立命館大学会計学研究会OB会総会
(40名・京都タワーホテル)
- 5/19 スポーツフェロー総会
(470名・京都全日空ホテル)



写真研究会OB会総会

その他の会

- 3/24 文学部神保ゼミ(昭和49年II部)
(17名・ホテル竹園芦屋)
- 4/17 ロータリー立命会例会
(44名・竹茂楼)
- 4/21 文学部英米文学科専攻(A)
86年3月卒同窓会
(18名・よし菜)
- 4/21 中華校友会設立総会
(178名・立命館大学衣笠キャンパス)
- 5/15 36年度・英米文学同期会
(10名・KKR京都「くに荘」)
- 5/18 立命土木36会
(朱雀キャンパスTAWAWA)
- 5/19 S40年理工学部数物学科卒業生の会
(27名・ホテルピアザびわ湖)



文学部神保ゼミ



中華校友会設立大会記念懇親会

校友会奨学金授与式が開催されました

3月19日(月)、課外・自主活動において、立命館学園への誇りとアイデンティティーを高めることに寄与し、優れた成果を収めた個人を表彰する「2011年度校友会奨学金授与式」が朱雀キャンパスで開催されました。2011年度は、スポーツ・学術・学芸の2部門で10名の学生に「校友会会長賞」が贈られました。

校友会からは、福元寅典副会長が出席し、「東日本大震災から1年。誰もがなにかしらの閉塞感を感じていた中、皆さんは素晴らしい活躍によって自分の夢を形にし、学生、校友に夢と感動を与えてくださいました。これからも夢を持ち続け、学生ならびに卒業生にますます大きなエネルギーを与えてください」と受賞者の活躍を称えました。

校友会会長賞受賞者

スポーツ実績部門

大野 陽子	産業社会学部4回生	柔道部
只野真梨枝	産業社会学部4回生	柔道部
小谷 優介	経済学部4回生	男子陸上競技部
田中 華絵	経済学部4回生	女子陸上競技部
岩川真知子	経営学部4回生	女子陸上競技部
小林 大郁	経営学部4回生	スキー部
数下 明音	経営学部2回生	女子陸上競技部

学術・学芸実績部門

楠木 早紀	産業社会学部4回生	かるた会
小島真理子	産業社会学部4回生	Windward
中川 慧梧	産業社会学部1回生	将棋研究会

校友会会長賞受賞者を代表して、かるた会の楠木早紀さん(産業社会学部4回生=当時)は「目標を果たし、充実した4年間で過ごすことができたのも校友会や学園の皆さまのご支援、ご声援があったから。この4年間で得たものをこれから進む場所で発揮し、さらに磨きをかけて、自分の夢を目指していきたい」と抱負を語りました。

当日は、併せて「課外・自主活動個人奨励金・団体助成金給付証書授与式」も開かれ、31名の個人と38の団体が表彰されました。



能楽部OB会有志が幻の謡曲『泣不動』をゆかりの寺で復興奉納

4月1日(日)、京都市上京区の浄土宗大本山清浄華院で、立命館大学能楽部OB会の有志が謡曲『泣不動』を奉納上演した。幻の曲『泣不動』の復興上演に、大勢の観客が駆けつけた。

室町時代には流祖観阿弥清次、二世世阿弥、観世元雅や音阿弥が演じた古曲『泣不動』は、「謡曲三百五十番集」等に収められていながらも近年は演じられることがなくなり、廃曲となっていた。50年前、稽古場を持たなかった能楽部は、広小路校舎にほど近い同寺の方丈を借りて稽古をしていた。その感謝の気持ちを込めて、OBの一人が能の奉納を申し出たところ同寺も快諾。僧侶や観世流能楽師の青木道喜さ

んらの協力を得て同寺に伝わる「泣不動縁起絵巻」を題材にした謡曲『泣不動』を復興し、今年、奉納することとなった。泣不動尊像に見守られながら、OBたちは仕舞や謡いを堂々と披露して観客の目を楽しませた。

OBの達富允彦さん('63経済)は「80歳のOBから現役部員まで、50年前の稽古場にこうして集まって旧交を温められて最高の気持ち。これからも能楽部が末永く続くようにと、今日は法然上人にお祈り申し上げました」と笑顔。OB会名誉会長の中小路宗隆さん('55文)は「縁あって今日の上演にまで至り、本当に嬉しい。能楽部は部員が少なく一時は存続が心配されたこともありましたが、今はまた現役部員が盛り上げてくれています。これを機に『泣不動』もさらに発展させ、継承していければ」と喜びを語った。



「全国都道府県校友会代表者会議」が開催されました！

2月25日（土）、衣笠キャンパスで「2011年度 立命館大学校友会 全国都道府県校友会代表者会議」が開催された。

今年度は実際に事務局運営に携わる校友を基軸に名称を「代表者会議」として参加者を招集。当日は全国52都道府県校友会、本部役員含め総勢約170名が出席した。

全体会議では、服部健二学校法人立命館副理事長、建山和由学校法人立命館総合企画室長による『特別講演会 未来に向かう立命館』と題した講演の後、山中諄会長（'65経済）はじめ三役が全員登壇し、「『立命館大学校友会未来人財育成基金』設置提案～母校



と後輩を支え続けられる強い校友会を目指して～」のプレゼンテーションが行なわれた。辻寛 東日本大震災復興支援特別委員会委員長（'62法）より「震災復興事業に関する御礼とお

願い」のスピーチがなされ、ヴァリユアブル活動事例として、飯田俊之熊本県校友会事務局長（'82産社）より「『地元熊本での就職状況に関



する情報交換会』の開催について」の報告があり、そのあと福元寅典本部副会長（'72経済）、穴吹学香川県校友会事務局長（'71経営）、初村雅敬北九州校友会幹事長（'78経済）、竹内美奈子東京校友会幹事長（'83法）によるトークセッションが行なわれた。

グループ討議では、今回も年代別にグループ編成をしたことにより、リラックスした雰囲気活発な意見が交わされた。意見交換会終了後は懇親・情報交換ビアパーティが開催され、参加者はピアグラスを片手に校友会運営のノウハウを語り合い、交流を深めていた。

2011年度校友会新卒幹事懇談会が行なわれました！

3月14日（水）、朱雀キャンパス校友会会議室で「2011年度新卒幹事と校友会副会長との懇談会」が開かれた。各学部から選出された9名の幹事候補（同日現在）が和やかに副会長と歓談した。

今年度は、新たに就任した佐藤友美子本部副会長（'75文）が出席。佐藤副会長は、「社会は常に変化し、また、自分たちの力で変えていくこともできる。みなさんは今、力を蓄える時。感受性を豊かにして、前向きにいろんなことを受け入れてみて。広い視野を持つこと



が出来ると校友会という場で活躍すれば、新しい自分の能力を発見できるかもしれません」と候補者にエールを送り、候補者も社会の第一線で活躍する先輩の言葉を真

摯に受け止めていた。

その後、同キャンパス7Fのレストラン「たわわ」で、学長主催「立命館大学卒業生代表者等との懇談会」が行なわれ、新卒幹事候補者を含む卒業生代表者と学園役職者や来賓が一堂に会して交流を深めた。

新卒幹事候補者は、6月2日（土）の幹事会にて、山中諄会長によって指名・選任されたことが報告された（新卒幹事一覧はP. 21に掲載）。



■ 佐藤友美子副会長（前列中央）と新卒幹事の皆さん

「第六回立命寄席」が開催されました！

4月7日（土）、大阪天満天神繁昌亭にて「第六回立命寄席」が開催された。立命館大学落語研究会OBで、上方落語界で活躍中の桂塩鯛・桂小春團治両師匠による「立命寄席」は毎年好評を博しており、今年で6回目。2009年からは立命館大学校友会「近畿ブロック文化事業」と位置づけて開催され、今年も辻寛兵庫県校友会会長、渡邊申孝奈良県校友会会長（'58経済）をはじめ、近畿ブロックの各校友会関係者が多数参加。会場前には当日券を求める人の長い列ができ、落語研究会の現役学生も含め約200名が観覧した。

開演後、塩鯛師匠が察歌、小春團治師匠が応援歌バージョンの出囃子という粋な演出で登場。それぞれ「愛宕山」「アーバン紙芝居」を臨場感たっぷりに熱演した。中入り後は、塩鯛師匠が「読書の時間」、小春團治師匠が「親子茶屋」をテンポ良く演じ、卓越した芸に

観客を引き込んだ。茨木市在住の塩鯛師匠が、2015年開設予定の大阪茨木新キャンパスについて紹介するなど、「立命寄席」ならではの一味違う内容で、最後は万雷の拍手で幕を閉じた。



■ 桂塩鯛師匠（写真左）と桂小春團治師匠

卒業50周年記念祝賀会が開催されました！

3月8日（木）、グランドプリンスホテル京都にて「2011年度 卒業50周年記念祝賀会」が開催された。同祝賀会は、卒業後50周年の大きな節目を迎える校友を対象に校友会主催で開かれており、今年は1962年卒業校友が対象者となる。6回目の開催となる今年は264名の申込みがあり、幅広い地域の校友たちが学生時代を過ごした京都の地に再び集った。

第一部は坂本和一立命館大学名誉教授・百年史編纂室顧問による講演会で、参加校友は懐かしい学生生活を振り返りつつ、現在、そしてこれからの立命館について理解と関心を深めた。第二部は、応援団のリードのもと参加者全員で校歌を斉唱。続いて、主催者代表として西村隆校友会副会長が式辞を述べ、「母校の歩みを実感し、今後も立命館の応援団として暖かく見守りましょう」と呼びかけた。来賓代表の川口清史立命館総長は未来に向けた立命館の姿を力強く語り、会場からは大きな拍手がわき起こった。

卒業50周年目校友である長田豊臣立命館理事長の乾杯発声で歓談がスタート。学部をきっかけとした再会が会場の至るところでみられた。参加者を代表して法学部卒業の辻寛さん（兵庫県校友会会



長・東日本大震災復興支援特別委員会委員長）が開催への謝辞を述べ、校友会が取り組む「東日本大震災義援金」への協力を呼びかけた。その後再び応援団が登壇。察歌や応援歌の斉唱で会場は大きな一体感に包まれ、森島朋三常務理事の中締めの挨拶で会は幕を閉じた。

会場では、購入金額の1割が立命館で学ぶ学生への寄付となる「記念グッズ」が販売され、「東日本大震災義援金」にも多くの校友が賛同し、118,000円の温かい支援が寄せられた。

オープンキャンパス2012

RITSUMEIKAN UNIVERSITY
OPEN CAMPUS 2012
8/4（土）・8/5（日） 10:00～16:00

8月4日（土）、5日（日）の10:00～16:00、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパスでオープンキャンパスを同時開催。当日は各地域からキャンパスへの無料送迎バスを運行します。6月中旬にはオープンキャンパス特設サイトをオープンしますので、詳しくは受験生のための入試情報サイト「リッツネット」をご確認ください。

リッツネット で、検索

オール立命館校友大会 2012 in 新潟

10月6日(土) 12:45～20:30(予定)

朱鷺メッセ 新潟国際コンベンションセンター

日本有数の大河、信濃川と阿賀野川が滔滔と流れゆく越後平野。
その大地から育まれる豊かな実りは、米をはじめとして国内外に名声を轟かせ、
米と清冽な水からつくられる淡麗辛口の酒は、多くの人びとを魅了してやみません。
眼前には美しい日本海、天気によれば波の間に佐渡島の姿を望む都市「新潟」。
別名を「水の街」または「柳都」とも称する山海の幸に恵まれたこの街で、
2012年度の校友大会が開催されることになりました。

立命館大学校友会は2010年12月、
開催地の新潟県はじめ関東甲信越10校友会で実行委員会を結成し、
大会企画の検討や構成をすすめてきました。
今回の特集記事では、大会当日のコンテンツや見所をご紹介します。

主催／立命館大学校友会、オール立命館校友大会2012in新潟実行委員会(新潟県校友会、長野県校友会、
山梨県校友会、茨城県校友会、栃木県校友会、群馬県校友会、埼玉県校友会、千葉県校友会、東京
校友会、神奈川県校友会)
共催／立命館大学、立命館アジア太平洋大学



当日のイベント予定タイムライン									
12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
	企画1 ▶12:45～14:30 (トークセッション)		企画2 ▶14:55～17:20 (レセプション)		企画3 ▶17:45～19:30 (公式二次会)	企画4 ▶18:30～20:30 (女子夜会)			

※都合により内容等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

一般の方も参加可
入場無料

企画1 トークセッション「夢をかなえるチカラ」立命館出身トップアスリートの軌跡 featuring 史佳 Fumiyoishi

会場 朱鷺メッセ1階ウェブマーケットB 時間 12:45～14:30

校友大会開催記念のこの企画は、校友やそのご家族・ご同伴者はじめ、地元新潟市をはじめとする一般市民・中高生の皆様にも無料で参加いただけることにしました。
トークセッションに登場予定の3名のトップアスリート、千葉真子さん、武田美保さん、小島智子さんは、全員立命館の校友です。幼少期から熾烈なトレーニングにより強靱な体をつくりあげ、青少年期からは世界基準の目標を追い求め続けるメンタル面の強さを涵養し、見事大きな成果を獲得されました。これらの経験により形成された「生きかたの哲学」は、スポーツはもちろんのことビジネスや学術の世界との共通性を有するのみならず、一般市民の日常生活にも大きな「気づき」を与えてくれるはずです。立命館の中堅・若手校友である3人が語る『夢をかなえるチカラ』を、“真面目でコツコツ努力するタイプが多い”という新潟の人々と一緒に、また、その中から「未来の後輩」が誕生することを願って、共にお聞きください。

なお、トークセッションの前後、オープニング&クロージングアクトには、地元新潟出身で、国際的にも活躍する校友・三味線プレイヤー史佳さんのライブも展開されます。伝統的かつ大迫力の楽曲に加え、西洋的な音楽スタイルと大胆に融合した斬新な楽曲が演奏される予定ですので、あわせてお楽しみください。



千葉 真子
マラソンランナー／スポーツコメンター。1994年立命館宇治高等学校卒。



武田 美保
シドニー・アテネオリンピック銀メダリスト(シンクロナイズドスイミング)。1999年産業社会学部卒。



小島 智子
元NFLチアリーダー。2000年経済学部卒。



ライブ演奏
・オープニングアクト
・クロージングアクト

史佳 Fumiyoishi
三味線プレイヤー。1997年理工学部卒。

R Alumni 立命館大学校友会事務局

ご参加申込(レセプションチケット購入)またはお問い合わせは、立命館大学校友会事務局までお願いします。

大会特設ホームページ <http://www.hajimari.info> TEL:075-813-8216 FAX:075-813-8217
E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地 立命館朱雀キャンパス内

★関東甲信越1都9県(新潟県、長野県、山梨県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)在住の方は、右記の各校友会事務局にて、チケット購入、会場直行バス参加プラン、宿泊斡旋などの申込を承ります。詳細は今回の会報に同封されている案内チラシ(茨城県除く)をご覧ください。

新潟県校友会事務局
T E L : 090-2640-1932(小野) E-mail : obata-m@ma.tlp.ne.jp

群馬県校友会事務局
T E L : 027-372-8422(石橋博) E-mail : hiroshikun@kif.biglobe.ne.jp

企画2 レセプション (校友向け企画)

・総会パート
・懇親会パート

校友の皆様
奮ってご参加
ください。

新潟の美酒肴とともに、
校友同士の語らいを存分にお楽しみください

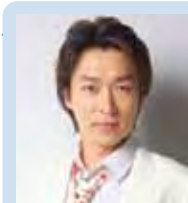
会場 朱鷺メッセ1階 ウェーブマーケットA
時間 14:55～17:20 参加費 8,000円(全席着席形式)

今回のレセプション(懇親会)は、全参加者が一つの会場に集結しての開催となります。歓談中のアトラクション上演等はありませんので、参加者同士の交歓をじっくりと大いにお楽しみください。「食材の宝庫」新潟の特色ある郷土料理とお酒をご用意いたします。

参加費はお一人8,000円(全席着席。要事前申込・チケット購入)です。チケットのお求めは、立命館大学校友会事務局(特集末尾に連絡先記載)まで、関東甲信越1都9県※にお住まいの方は、もよりの校友会事務局まで。

「立命館アニバーサリー」シングアウト 江川 功 1981年経営学部卒。

※関東甲信越1都9県：新潟県、長野県、山梨県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県。なお、上記都県(茨城県を除く)の方には、今回の会報に、もよりの(居住都県の)校友会事務局より「校友大会参加のご案内」が同封されているのであわせてご確認ください。



歌のアベリティブ
渋谷 文太郎
シャンソン歌手。
1998年政策科学部卒。



笹だんご



のっぺ煮



タレカツ丼

※料理写真はイメージです。

レセプション終了後もお楽しみ企画があります！

企画3 公式二次会 (校友向け企画)

新潟の銘酒を
心ゆくまで
ご堪能ください



会場 朱鷺メッセ31階展望室
時間 17:45～19:30 参加費 2,000円(立食形式)

レセプション参加者の方を対象に、「公式二次会」を開催します。新潟屈指の地酒や肴に加えて、新潟の伝統ある花街古町より芸妓を招いての演舞も行われます。会場となる朱鷺メッセ31階展望室からの眺望は素晴らしく、眼下に暮れ行く街並みや信濃川、そして天候が良ければ水平線の彼方に消えていく夕陽を楽しむことができます。
参加費はお一人2,000円(立食形式、予約不要)です。なお、当日のレセプション終了後の先着順受付(200名程度を予定)となります。

企画4 女子夜会 (校友向け企画)

新潟の美酒・スイーツとともに
女性校友同士の交流を！



会場 朱鷺メッセ2階「月下氷人」
時間 18:30～20:30 参加費無料 (男性のご参加はご遠慮ください)

2010in福岡、2011in京都でそれぞれ好評を博した女性校友交流企画を今回も実施します。朱鷺メッセ内「月下氷人」を会場に、新潟の美酒肴に加えて特産フルーツやスイーツなどをご用意。シャンソン歌手渋谷文太郎さんのミニライブなどを交え落ち着いた雰囲気、気兼ねのないフランクな交流をお楽しみください。

レセプションチケット購入者については参加費無料(ただし要事前申込※)です。参加は女性校友ご本人および中学生以上の女性同伴者のみとさせていただきます。

ミニライブ 渋谷 文太郎 シャンソン歌手。1998年政策科学部卒。

※レセプションチケット購入時にあわせて「女子夜会」参加希望とお伝えください。

託児室開設予定！

お子連れの方も安心してご参加ください。

【委託先】(有)ベビーヘルパーPOPO
<http://www.po-po.net/>

お問い合わせ(担当：長嶋) TEL:025-275-5562(受付時間8時～22時)

要事前
申込

※所定の書式による事前申込が必要です。詳しくは、大会特設ホームページまで。

30th
ANNIVERSARY

卒業30年目校友(1982年・昭和57年卒・修了)の方は、
レセプションチケット無料(要事前申込)
※お申込やお問い合わせは立命館大学校友会事務局まで。

長野県校友会事務局
E-mail : rits.nagano@gmail.com U R L : http://alumni.ritsumei.jp/nagano

山梨県校友会事務局
T E L : 090-2430-1995(川崎) 090-4603-3945(久保田)

茨城県校友会事務局
T E L : 090-8116-5697(木村) E-mail : yukeikimu@yahoo.co.jp

栃木県校友会事務局
T E L : 028-671-2055(笠原) F A X : 028-671-2056 E-mail : houyuu@mti.biglobe.ne.jp

埼玉県校友会事務局
T E L : 03-3552-2201(エクセルアート) E-mail : teenomoto@excelart.co.jp U R L : http://saitama-ritsumei.org/

千葉県校友会事務局
T E L : 080-5511-6477(森下) E-mail : imorishi@ku.kumagagumi.co.jp

東京校友会事務局
T E L : 03-5224-8188 E-mail : tokyo-al@st.ritsumei.ac.jp U R L : http://alumni.ritsumei.jp/tokyo

神奈川県校友会事務局
E-mail : kunio.noguchi@gmail.com U R L : http://alumni.ritsumei.jp/kanagawa/ T E L : 080-6721-0071

2012年度 校友会幹事会報告

6月2日(土)、立命館朱雀キャンパスにて、2012年度幹事会が開催され、校友会三役(会長・副会長・監事)、常任幹事、幹事の約230名が全国各地から参集した。冒頭、長田豊臣立命館理事長から「立命館にしかない、質の良い教育を受けられる大学を目指して、茨木、衣笠、BKCの三位一体でどう改革していくのか。10年後までに次の時代の基礎を作り、『あの時頑張ってよかった』と思い返せる時にしたい。これからも校友の皆様には温かいご支援をお願い申し上げます」と挨拶があり、その後、山中淳会長が議長となって議事を進めた。事務局体制の変更に関する報告に続いて、5件の報告と5件の審議が行なわれ、議事終了後には、辻寛東日本大震災復興支援特別委員会委員長より同委員会の活動についての報告があった。



報告事項

- 常任幹事会にて審議・承認された以下の事項につき報告が行なわれた。
- 校友会副会長および監事の異動に伴う補充選任について
 - 2012年度立命館大学校友会新卒幹事の決定について
 - 「オール立命館校友大会2012 in新潟」進捗状況について
 - 2013年度以降の校友大会のあり方について
 - 「未来人財育成基金 募集推進特別委員会」の設置について(付議報告)
 - 「立命館大学校友会 未来人財育成基金」推進基本計画(案)について

審議事項

- 以下の事項につき、審議が行なわれた。
- 2012年度立命館大学校友会推薦校友の承認について
 - 2011年度立命館大学校友会事業報告および2012年度事業計画案について
 - 2011年度立命館大学校友会決算報告および2012年度予算案について
 - 立命館大学校友会「年会費」制度の廃止について
 - 「立命館大学校友会 会計規程」の制定について

2011年度決算

●収支決算書(2011年4月1日から2012年3月31日まで)				(単位:円)			
科 目		決 算 額		科 目		決 算 額	
<経常収入の部>				<その他資金収入の部>			
会費収入		240,594,000		基金取崩収入		170,000,000	
資産運用収入		17,914		前期末未収金収入		46,593	
組織強化事業収入		2,179,000		立替金回収収入		2,557,968	
校友大会事業収入		13,276,000		預り金収入		6,161,237	
広報事業収入		25,827,781		期末未収金		△ 48,255	
その他の収入		153,056		前期未前受金		△ 238,860,000	
経常収入合計		282,047,751		その他資金収入合計		△ 60,142,457	
<経常支出の部>				<その他資金支出の部>			
組織強化事業支出		47,697,851		その他の支出		4,590,000	
校友大会事業支出		31,027,669		前期末未払金支出		16,261,556	
奨学金事業支出		5,300,000		立替金支払支出		2,529,553	
広報事業支出		70,650,634		預り金支払支出		5,245,700	
復興支援事業支出		5,132,056		期末未払金		△ 45,140	
人件費支出		22,508,278		その他資金支出合計		28,581,669	
運営費支出		21,399,435		当期収支差額		△ 10,392,298	
経常支出合計		203,715,923		前期繰越収支差額		58,105,176	
経常収支差額		78,331,828		次期繰越収支差額		47,712,878	

●貸借対照表(2012年3月31日現在)

(単位:円)

科 目		決 算 額		科 目		決 算 額	
<資産の部>				<負債の部>			
現金預金		47,712,878		未払金		45,140	
立替金		1,300		預り金		986,537	
未収金		48,255		負債合計		1,031,677	
基金積立金預金		925,434,947		<正味財産の部>			
資産合計		973,197,380		基金積立金		925,434,947	
				運用財産		46,730,756	
				正味財産合計		972,165,703	
				負債及び正味財産合計		973,197,380	

2012年度予算

●収支予算書(2012年4月1日から2013年3月31日まで)

(単位:円)

科 目		予 算 額	科 目		予 算 額
<経常収入の部>			<その他資金収入の部>		
会費収入	191,550,000		前期末未収金収入	48,255	
資産運用収入	15,000		立替金回収収入	1,300	
組織強化事業収入	1,600,000		その他資金収入合計	49,555	
校友大会事業収入	14,000,000		<その他資金支出の部>		
広報事業収入	25,600,000		その他の支出	8,730,000	
その他の収入	150,000		前期末未払金支出	45,140	
経常収入合計	232,915,000		預り金支払支出	986,537	
<経常支出の部>			その他資金支出合計	9,761,677	
組織強化事業支出	56,000,000		予備費	11,320,756	
校友大会事業支出	50,000,000		当期収支差額	△ 47,712,878	
奨学金事業支出	5,350,000		前期繰越収支差額	47,712,878	
広報事業支出	73,160,000		次期繰越収支差額	0	
母校支援事業支出	5,500,000				
復興支援事業支出	10,000,000				
人件費支出	27,100,000				
運営費支出	32,485,000				
経常支出合計	259,595,000				
経常収支差額	△ 26,680,000				

2011年度 立命館大学校友会事業報告

2011年度に立命館大学校友会が実施した、主要事業について、次の通り報告する。

組織強化事業
■「全国都道府県校友会代表者会議」(2月25日) 立命館大学衣笠キャンパスにおいて開催し、校友会活性化に向けた意見交換を行なった。
■「卒業50周年記念祝賀会」(3月8日) グランドプリンスホテル京都において開催し、対象の1962年卒業の校友252名が集い、旧交を温める場を設けた。
■「校友会入会記念品贈呈」(3月20日～21日) 2011年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式において、立命館アイデンティティの醸成を図るため、校友会入会記念品としてCROSS社製ボールペンを全卒業生に贈呈した。
校友大会事業
■「オール立命館校友大会2011 in 京都」(10月29日) 滋賀県・京都・大阪・兵庫県・奈良県・和歌山県の近畿2府4県6校友会が主催で実行委員会を構成し、計7回の委員会を経て、ホテルグランヴィア京都(京都府京都市下京区)において開催し、大会史上初めて託児室を設置した。また、同日に開始した「第26回国民文化祭・京都2011」とコラボレーションを図った特別ステージを併せて開催し、立命館小学校チア・立命館高校吹奏楽部をはじめ、在学生によるパフォーマンスで多くの観覧者を集めた。全企画で延べ7,400名が参加した。
奨学金事業
■「立命館大学校友会会長賞」の給付(3月19日) 校友会会長賞を10名に授与し、授与式を朱雀キャンパスにおいて開催した。
広報事業
■会報「りつめい」の発行 245号(6月27日)・246号(9月27日)・247号(12月22日)・248号(3月16日)を発行した。
■IT機能の強化 ホームページの多言語化推進(日常的に更新されるページを除いた箇所についての英語表記)、モバイルコンテンツの展開(QRコードの展開、住所変更を携帯電話からできるページの開設)、会報「りつめい」と連動した動画配信を盛り込んだホームページの充実化に向けたプラットフォーム作りを行なった。
その他事業
■各種会議・専門委員会の開催 各種会議(三役会議・常任幹事会・幹事会)、専門委員会(総務委員会・財務委員会・広報委員会)を開催した。また、新たに「東日本大震災復興支援特別委員会」を発足し、義援金募集活動を積極的に展開し、被災地校友の支援を行なった。

2012年度 新 卒 幹 事

法学部	渡邊 顕子
経済学部	嘉田 侑季
経営学部	藤井 那美
産業社会学部	塩田 楓

国際関係学部	阿部 薫
政策科学部	石内 建
映像学部	寺田 有
文学部	南 健一

理工学部	足立 愛樹
情報理工学部	高山 怜也
生命科学部	阪中 教恵

2012年度 立命館大学校友会事業計画

2012年度に立命館大学校友会が計画している主要事業は、次の通りである。

組織強化事業
■「全国都道府県校友会代表者会議」 2月下旬(予定)
■「卒業50周年記念祝賀会」 3月上旬(予定)
■「校友会入会記念品贈呈」 3月中旬(予定)
校友大会事業
■「オール立命館校友大会2012 in 新潟」 10月6日(土)に立命館大学校友会および新潟県・長野県・山梨県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京・神奈川県の中信越関東1都9県10校友会が主催となり、新潟市の朱鷺メッセ・新潟国際コンベンションセンターにおいて開催する。2011年度に引き続き、託児室の設置や女性校友を対象とした企画などを展開する一方で、市民開放型のトークセッションの開催を行なう。
奨学金事業
■「立命館大学校友会会長賞」の給付 3月中旬 授与式開催予定。 ※2009年度まで実施した「立命館大学校友会留学生奨学金」ならびに「立命館大学校友会会長特別賞」の給付については、各種会議・専門委員会において審議を重ねた結果、運用の見直しを行なうこととなっており、2011年度に引き続き2012年度においても実施しない。
広報事業
■会報「りつめい」の発行 249号(6月下旬)・250号(9月下旬)・251号(12月下旬)・252号(3月中旬)に発行予定。
■IT機能の強化 WEB活用も含めた会報「りつめい」のメディアミックス展開の推進、校友会諸活動活性化に資する各種広報活動の企画・展開、携帯電話向けコンテンツの整備を実施予定。
その他事業
■各種会議・専門委員会の開催 各種会議(三役会議・常任幹事会・幹事会)、専門委員会(総務委員会・財務委員会・広報委員会)を適宜開催予定。また、「東日本大震災復興支援特別委員会」が中心となり復興支援事業を継続して行なう。加えて、「未来人財育成基金募集推進特別委員会」を新設し、基金の募集推進活動を本格化する。
■その他 立命館大学が行なう「東日本大震災被災者対象予約採用型奨学金」における2012年度採用者5名について年間授業料を半額支援する。



Motoyuki Iemitsu

PROFILE

1996年 川崎医療福祉大学医療技術学部
健康体育学科 卒業
1998年 東北大学大学院医学系研究科
修士課程 修了
2003年 筑波大学大学院医学研究科
博士課程 修了

筑波大学先端学際領域研究センター客員研究員（現職）、
国立健康・栄養研究所健康増進プログラム運動ガイドライン
プロジェクト客員研究員（現職）、環太平洋大学体育学部
講師などを経て、2010年立命館大学スポーツ健康科学部
准教授（現職）。

第24回日本体力医学会学会賞（2011年）、第13回日本
運動生理学会若手優秀発表賞（2005年）ほか受賞。
障害科学修士、医学博士。

●研究テーマ 競技力向上や生活習慣病予防のための
運動効果とメカニズムの解明
オーダーメイド運動・
食事療法プログラムの開発
運動やサプリメント摂取の効果 など

●所属学会 日本肥満学会、
American College of Sports Medicine、
European College of Sport Science、
日本高血圧学会、日本運動生理学会 など

運動効果と遺伝的影響を解明して、 個々の潜在能力を導き出す

スポーツ健康科学部 家光素行 准教授

動脈硬化や糖尿病、現代の病とも言われる生活習慣病の予防や改善には運動が欠かせない。しかし、同じ運動をしてもすぐに効果が現れる人とそうでない人がいる。また、同じダイエットでも痩せやすい人と痩せにくい人がいる。それらの違いはどこにあるのか。この問いのカギとなるのが遺伝子だ。スポーツ健康科学部の家光素行准教授は、遺伝子の情報を手がかりに、遺伝的な要因の生活習慣病への影響と、そこに運動がどのように影響を及ぼすのかを解明し、新たな運動・食事プログラムの開発を目指している。

遺伝子の情報から見出せる個人対応型ヘルスケア

「どんなに綿密に設計された家でも、たった一つのドアノブがなければ中に入れない。それと同様に遺伝の設計図のわずかな差でヒトの体の特性においても違いが生まれると言われています」。遺伝子の塩基がたった一つ違うだけで、動脈硬化になるリスクが増減するという研究データがある。しかし、動脈硬化リスクのある遺伝子を持っていたとしても、日頃から運動をしている人の場合、動脈硬化になる可能性は高くない場合もある。これは適切な運動によって遺伝的なリスクをキャンセルできるということを示している。また、運動による健康効果に個人差があるのには遺伝子が影響しているというデータも報告されている。「運動効果が得にくい」という特性のある遺伝子を持つ人は、いくら熱心に運動をしてもそれだけで健康効果を得るのは難しい。そのような人の場合は運動と同時に食事面からも取り組むことが必要になるが、その際、もし、遺伝子の情報が分かれば、その人に適した運動や食事のプログラムを提案することができる。「遺伝子の特性を知れば『オーダーメイド運動プログラム』や『オーダーメイド食事プログラム』による個人対応型のヘルスケアが可能になるのです」。

新しい治療法の開発も

学生時代、自身が短距離選手として体を鍛えていく中で、スポーツ選手の体の適応に興味を持ったことから家光准教授の研究は始まった。アスリートに見られる「スポーツ心臓」のメカニズムを調べていると、スポーツ心臓の形成には多くの遺伝子の発現が関与していることが分かり、運動と遺伝的影響との関係に関心が深まっていった。研究を重ねるうちに「多くの人にいつまでも健康でいてもらうには、自分の研究をどう役に立てればよいのか」と考えるようになり、アスリートだけでなく一般へと視野が伸び、生活習慣病が主なターゲットとなった。

家光准教授が、動脈硬化と並んでもう一つの大きなテーマにしているのが糖尿病だ。

糖尿病と言えばインスリンに関する研究が主流。しかし家光准教授の研究チームでは、糖尿病に効果を及ぼすものにはインスリンだけでなく性ステロイドホルモンもあり、作用機序が相似していることから、それら二つが互いに高め合って血糖の調節をしていることを突き止めた。さらに、この性ステロイドホルモンの生成を促進するには、運動と「ある食材」の摂取との組み合わせが効果的であることを発見。これらの働きによりインスリンの働きに欠かせない性ステロイドホルモンを増加させれば、糖尿病の発症リスクや病態を改善できることを証明しようとしている。「この研究結果が社会で認められれば、今後、糖尿病の食事メニューが変わる可能性もあります」。



遺伝子の特性を知ることが目標への近道になる

「持っていれば金メダルを獲得の可能性が高くなる」と言われる『アスリート遺伝子』というものがある。運動能力に対する遺伝的な要因は個人の特性に約20～60%影響するという。しかしたとえ60%が遺伝的要因による影響を受けたとしても、残りは環境要因。遺伝子の情報によって運命が決まってしまうわけではない。例えば自分が選んだスポーツの中で勝ち抜きたいければ、遺伝子情報を戦略として使い、特性に合ったトレーニングをすればよい。「遺伝子は使い方によって可能性を広げてくれるもの。病気のリスクの要因になるものかもしれないけれど、ネガティブなものばかりではなく、自分のパフォーマンスを上げることに応用できる」。上手く付き合えば強い味方になってくれる。

今の日本は、運動や食事の健康効果について呼びかけてはいるが、それはまだ「個」を考慮していない「全体」に対するアプローチだ。「個人差には遺伝的要因もあるという情報をふまえた健康に関する取り組みを、スポーツや体育に関連する研究者が協力して国に提案できれば。私の代では完成できなくとも、私の教え子たちがきっと実現してくれるはず。だから私の夢は、同じ研究のゴールを持ってくれる弟子を育てることです」。

被災地の子どもたちの健康を支援する

スポーツ健康科学部では、岩手県大船渡市との連携により、昨年から被災地の子どもたちの体育授業に関わる支援に取り組んでいる。文部科学省の平成23年度復興教育支援事業に採択されたこの取り組みは、体育・スポーツに関連する支援としては唯一のもので、家光先生が牽引役となって進めている。

震災以降、仮設住宅の建設で学校のグラウンドが使えなくなるなどして、子どもたちの身体活動量は大幅に減り、今後子どもたちの生活習慣病のリスクが上がるのが懸念される。

取り組みでは、大船渡市の中学校の1、2年生全員に体力測定を行ない、限られた場所でも短時間で効果的に体力が向上するトレーニングを学部の教員全員で考えて提案。部活動をしている生徒にはそのトレーニングを継続してもらい、再度測定して効果が認められれば、この取り組みをモデルにして各地で提案することを目指している。「授業を通して、体づくりの大切さを子どもたちに伝えたい。被災地の本当の復興を支えていくのは、10、20年後に大人になる今の子どもたち。彼らの体力を向上させ、今から病気を予防しておくのは研究者としての使命です。私の研究の目標は『みんなに健康になってもらうこと』ですから」。



SPORTS

スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

ロンドンオリンピック

立命館大学の在校生・校友5名がロンドンオリンピック出場内定！

立命館大学の在校生・校友 5 名がロンドンオリンピック出場内定！

7 月 27 日から開幕するロンドンオリンピックに以下の 5 名の在校生・校友の出場が内定しました(※)。ロンドンオリンピックでの活躍にご期待ください。

- ◆セーリング男子 49er 級
牧野幸雄さん(校友・2004 年経済卒)
- ◆ホッケー女子日本代表チーム
「さくらジャパン」
林なぎささん(校友・2009 年産社卒)
- ◆シンクロナイズドスイミング
チーム・デュエット
小林千紗さん(校友・2010 年経済卒)
乾友紀子さん(経営 4)
- ◆カヌースプリント男子カヤック 200m
渡邊大規さん(校友・2011 年経営卒)

※ 2012 年 6 月 5 日時点の情報です。内容に変更があることもありますので、ご了承ください。



硬式野球部

関西学生野球連盟春季リーグ5季ぶり33回目の優勝！

(5月27日 わかさスタジアム京都)

関西学生野球連盟春季リーグにおいて、立命館大学硬式野球部が 5 季ぶり 33 回目の優勝を果たした。優勝のかかった大一番と

なった最終節「立同戦」では、3 回に 1 番金子侑司選手(産社 4)のヒットを足がかりに、2 番宮本剛選手(産社 3)、3 番瀧野光太郎選手(文 3)の連打で 2 点を先制。その後、6 回に同志社に追いつかれる場面もあったが、8 回にヒットや相手のワイルドピッチなどで 2 点を加え、勝ち越した。ゲームセットの瞬間には、選手たちがマウンドに駆け寄り、優勝の喜びを分かち合った。優勝した硬式野球部は、6 月 12 日(火)に開幕する全日本大学野球選手権大会への出場が決定。大学日本一をかけて大会に臨む。

関西学生野球春季リーグ戦の表彰選手(立命館大学)

- ◆最優秀選手(MVP)
瀧野光太郎選手(文 3)
- ◆最優秀投手賞
工藤悠河選手(政策 3)
- ◆首位打者
宮本剛選手(産社 3)

ベストナイン

捕手：山村将之選手(産社 4)、二塁手：宮本剛選手、三塁手：瀧野光太郎選手、外野手：藤居憲吾選手(産社 3)



弓道部

第56回関西学生選手権男子団 thểで史上初の4連覇を達成

(5月26日、27日 グリーンアリーナ神戸)

第 56 回関西学生弓道選手権大会が開催され、弓道部男子団 thểで 4 年連続 11 回目の優勝を飾った。4 連覇は新記録となる。4 月



に行なわれた関西学生連盟新人戦での優勝と、5 月 12 日(土)にて開催された京都学生弓道選手権大会でも 8 年連続優勝している。また、個人戦において、男子は長尾良平さん(生命 1)が 10 位入賞、女子は千木良咲季さん(政策 3)が 4 位入賞と健闘した。

陸上部

第89回関西学生陸上競技対校選手権大会男女ともに総合2位を獲得

(5月10日～13日 長居第1陸上競技場)

第 89 回関西学生陸上競技対校選手権大会で、男子陸上競技部と女子陸上競技部がともに 2 位を獲得した。男子 400m 障害で小西勇太選手が 49 秒 63(大会新記録)で大会 2 連覇、女子 5,000m で池田睦美選手が優勝を果たすなど、男子、女子ともに健闘が光る結果となった。

主な成績

- ◆男子 200m
優勝 堀江新太郎(経済 4)
- ◆男子 800m
優勝 今崎俊樹(経営 4)
- ◆男子 400m 障害
優勝 小西勇太(経済 4)
「ロンドン五輪参加標準 A 突破」
- ◆女子 5,000m
優勝 池田睦美(スポーツ健康科学 2)
- ◆女子 5,000m 競歩
優勝 前田浩唯(経済 4)

ホッケー部

関西学生春季リーグ男女ダブル優勝

(4月14日～5月20日 立命館大学樟野ホッケー場など)

関西学生ホッケー春季リーグにおいて、立命館大学ホッケー部男子・女子がともに優勝を果たした。男子が 7 季連続、女子が 2 年連続の優勝となった。男子、女子ともに、6 月 15 日～ 19 日にかけて埼玉県飯能市阿須運



動公園ホッケー場などで開催される全日本大学ホッケー王座決定戦に関西代表校として出場し、日本一を目指す。

ソフトテニス部男子

関西学生春季1部リーグ戦9年ぶりの優勝

(4月28日、29日 福知山市三段池公園テニスコート)

関西学生春季 1 部リーグにおいて、ソフトテニス部男子が、2011 年の全日本大学ソフトテニス王座決定戦で優勝した同志社大学に勝利するなど、4 勝 1 敗で 9 年ぶりの春季リーグ優勝を果たした。今後、6 月 19 日～ 21 日に東京体育館で開催される全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場する。



CULTURE/ART

文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

能楽部

第29回立命薪能を開催

(4月23日 衣笠キャンパス)

能楽部は、衣笠キャンパスにて第 29 回立命薪能を開催した。以学館前の屋外に設置された特設舞台では、能楽演目「小鍛冶」が行なわれた。立命薪能は、今年で 29 回を数える能楽部の伝統行事となっており、学生・教職員はもちろん、地域の方を含めて多くの方がキャンパスに足を運ぶ様子が見られた。なお、今回の薪能は放送局出身の学生による立命館大学ライブストリーミング(rtv)によって、U-streamを利用したインターネット配信が行なわれた。



Tri-C

立ち寄りカフェ「ゆかい家」で学生たちがオリジナルスイーツを調理・販売

(5月23日、24日 立ち寄りカフェ「ゆかい家」滋賀県草津市内)



料理作りサークル「Tri-C」の学生は、オリジナルスイーツを、草津学区社会福祉協議会が運営する立ち寄りカフェ「ゆかい家」にて販売した。

この取り組みは、2012 年 3 月にオープンした「ゆかい家」を学生の力で市民の交流の場として一層発展させていきたいという、草津学区社会福祉協議会から大学への相談をきっかけとして始まった。今回は第一弾として、学生たち約 10 名がロールケーキとパウンドケーキを「ゆかい家」にて販売。今後も地元の食材を使ったスイーツやお弁当などを開発し、販売していくことも検討している。

CAMPUS ACTIVITIES

学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

2012 年度「新歓祭典」を開催

(4月21日 びわこ・くさつキャンパス)

びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、「新歓祭典～キミの世界が開くとき～」が開催された。新歓祭典は秋の学園祭に次ぐ学生主体の大きなイベント。特設ステージでは、課外自主活動団体によるダンスや太鼓、ダブルタッチなどのパフォーマンスやライブ演奏が披露された。また教室やセントラルアークには、学術団体・学芸団体の展示・体験コーナーなどが設



けられ、これらの企画を通じて多くの新入生が同級生・上回生と親交を深めていた。新入生が基礎演習のクラスごとに出店する模擬店では、「からあげ」や「チヂミ」など、それぞれ工夫を凝らした品を販売し、人気店では行列ができるほどの盛り上がりを見せた。

第 44 回草津宿場まつり 立命館大学課外活動団体が多数参加

(4月29日 JR草津駅、草津市役所周辺)

このイベントは、

毎年、草津地域の方々によって開催されるもので、東海道と中山道が出会う旧草津宿の歴史や伝統を身近に感じ、楽しむことができる草津市の春の風物詩としても知られている。昨年は東日本大震災の影響で開催されなかったものの、今年は晴天にも恵まれ、多くの観客で賑わった。街道では、多彩なパフォーマンスが行なわれ、立命館大学からも 14 の課外活動団体、運営スタッフや実行委員など約 190 人もの学生が参加した。



新入留学生歓迎企画バーベキュー・パーティー in びわこ・くさつキャンパスを開催

(5月27日 びわこ・くさつキャンパス)

びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、4 月に入学した外国人留学生を歓迎するバーベキューを行なった。この企画は、留学生チューター(TISA)の運営により、開催された。留学生同士で集まりがちな外国人留学生が、日本人学生や教職員との交流の機会を作り、交流の輪を広げてもらうことを目的に毎年実施しており、今回で 15 回目を迎えた。当日は、外国人留学生、日本人学生、教職員、そして地域の方々など 170 名が参加。参加者は自己紹介後、ゲームなどを通じて交流を楽しんだ。会場には、食べられるものが制限される学生もいるため、野菜を中心としたコーナーも設けるなど、工夫を凝らしたものとなった。



東日本大震災 私たちにできること

大船渡市との災害復興に向けた連携協力に関する協定を締結

4月24日(火)、立命館大学と大船渡市は「災害復興に向けた連携協力に関する協定」を締結いたしました。今回の協定は、大船渡市の災害復興に向け、立命館大学と大船渡市が連携協力して地域や社会の復興、人材育成等に取り組むことを目的としています。

立命館大学は、2011年3月の東日本大震災の発生以降、教育・研究を通じた様々な支援活動に取り組んでまいりました。大船渡市とは、2011年7月から、復興支援に関する取り組みについて協議を進め、体力向上のトレーニングプログラムなど具体的な支援活動に取り組んできました。今後、大船渡市との連携協力を通して学生の学びや教員の研究の場をさらに広げていき、多様な支援活動を通じて大船渡市の復興に貢献するよう努めていく予定です。

立命館高校SSコース

数博之理工学部教授による放射線基礎講義を実施

立命館高校では、4月17日(火)、4月24日(火)の2回にわたって、SSコースの1～3年生約100名を対象に数博之理工学部教授による放射線に関する基礎講義を実施しました。



第1回目の講義では、原子・原子核の構造を学び、物質は何でできているのか、また放射線とは何か、なぜ放射能が出るのか等、放射線と原子核について基本的なところを学びました。第2回目の講義では、実際に放射線測定器を利用し、セシウムの放射線源等で放射線のスペクトル測定実演が行なわれ、生徒からの質問も多く寄せられました。

後方支援スタッフが被災地で活動を実施

災害復興支援室では、中長期的な支援が求められる東北の被災地に向けて、学生を継続的に派遣する取り組みを具体化し、ボランティアを希望する学生を「後方支援スタッフ」として2011年12月から今日までに計8便、94名の学生を派遣してきました。今後も継続的に被災地へ学生を派遣する予定です。次の第9便は、6月14日(木)から6月19日(火)の予定で宮城県宮古市に派遣します。

活動受け入れ先・連携組織

- 遠野まごころネット／サンタが100人やってきた!プロジェクト(1便)
- 大槌町社会福祉協議会 大槌町災害ボランティアセンター(2便)
- NPO 法人テラ・ルネッサンス／大槌復興刺し子プロジェクト(2便)
- 遠野市文化課・三陸文化復興プロジェクトによる図書献本、文化財修復(3便)
- 宮古市災害ボランティアセンター(4・5・6・7・8便)
- 田老観光協会・津波被害説明会への参加(5・6・7・8便)

主な活動内容

- 被災した小学校校舎の清掃
- 被災した小中学校への献本、公文書修復
- 中学生の自習支援
- 仮設住宅での生活支援、救援物資配布
- 津波を受けた海岸の清掃 など



BKCに『ぴあら』がオープン

4月3日(火)、びわこ・くさつキャンパス(BKC)の2つの図書館(メディアセンター、メディアライブラリー)内の一部を改装し、学生同士の学び合いを促進する学習空間として、「ピア・ラーニングルーム(呼称『ぴあら』)」が誕生しました。2011年4月に衣笠キャンパスオープンした「ぴあら」のコンセプトを踏襲しながら、BKCでは新たに学習支援サービスを行なう場として、大学院生、若手講師が個別の学生ニーズに合わせた学習支援を行なう「数学・物理学習サポート」、「化学・生物学習サポート」や、大学院生が日本語の論文やレポートの書き方をサポートする「ライティング・サポートカウンター」を設けています。この他、研究発表や発表練習が行なえるプレゼンテーションエリア、資料を大型ディスプレイに映し議論ができるエリアなど、学生のアクティブな学習を創出する仕掛けを備えています。



「キャンパスアジア」パイロット事業 発足式典に川口清史学長が出席

5月13日(日)、中国・北京で行なわれた日中韓首脳会議の一環として、日中韓大学生交流プログラム「キャンパスアジア」パイロット事業発足式典が開催され、日本の私立大学では唯一の拠点校として選ばれた立命



<写真提供：在中国日本国大使館広報文化センター>

館大学から川口清史学長が出席しました。式典には、野田佳彦日本首相、温家宝中国首相、李明博韓国大統領、「キャンパスアジア」に参加する学校の代表校(9校)が出席しました。

【セレモニー参加大学】

日本：名古屋大学、一橋大学、立命館大学
中国：北京大学、清華大学、中国人民大学
韓国：韓国開発研究院、成均館大学、東西大学

2012年立命館大学・大学院と就職支援に関する協定を締結



4月4日(水)、立命館大学と広島県は「就職支援に関する協定」を締結しました。今回の協定は、立命館大学と広島県が連携協力し、広島県内の企業等による合同企業説明会を開催するなど、学生の就職活動を支援し、広島県へのU・Iターン就職の促進を図ることを目的としています。今後両者は、協定に基づき広島県出身学生のUターン就職の促進および広島県出身以外の学生のIターン就職の促進を図っていきます。

佛教大学との教育交流に関する協定を締結

3月19日(月)、立命館大学と佛教大学は、教員養成の一層の充実と発展を目指し、両大学の学生が教職課程を相互に履修できる機会の創出に向け、教育交流に関する協定を締



結しました。両大学は、多様化する教育ニーズに応え得る専門的な知識・技能と使命感を有した質の高い教員を養成するという共通の目的のもと、双方の強みを生かした有機的な連携を追求してきました。そして、両大学の学生が、お互いの大学の教育課程・制度を利用しながら教員免許を取得するという新たな共同プログラムを開発するに至りました。

「白華」現象を利用したコンクリートに模様づけをする技術を開発

立命館大学理工学部の岡本享久研究室と平尾和洋研究室は丸栄コンクリート工業株式会社と共同で、コンクリートの素材を活かして模様づけを行なう技術(特許出願中)を開発しました。

この技術を活かし、特急列車のヘッドマークをあしらったコンクリート製の椅子を2脚製造し、大阪ステーションシティの広場に設置しています。また、同じく「超高強度繊維補強コンクリート」を使用した桜の柄の椅子とテーブルのセットも展示しています(2013年4月26日まで)。



立命館大学国際平和ミュージアム開設20周年記念式典を挙

5月19日(土)、立命館大学国際平和ミュージアムにて、国際平和ミュージアム開設20周年記念式典を挙

行しました。式典は、川口清史・立命館総長の挨拶に始まり、安斎育郎・国際平和ミュージアム名誉館長による国際平和ミュージアム「20年のあゆみ報告」が行なわれました。その後、来賓の前田耕一郎広島平和記念資料館長よりご祝辞をいただき、世界中の平和博物館から寄せられたメッセージや祝電の披露、有馬頼底師・臨濟宗相国寺派管長による記念講

演「禅の山河」が行なわれました。最後にモンテ・カセム館長・立命館副総長(国際担当)が謝辞を述べました。当日は、学生、教職員、市民など218名の来場者が集まりました。



2012年立命館大学・大学院入学式を挙

4月1日(日)に衣笠キャンパスと朱雀キャンパスにて、4月2日(月)にびわこ・くさつキャンパスにて、2012年度立命館大学・大学院入学式を挙

行しました。式典には、3キャンパス合わせて約8,000人の新入生が集い、大学生活をスタートさせました。式典では、川口清史学長からの式辞の後、学部新入生代表が挨拶を行ない、これから始まる学生生活への抱負を述べました。衣笠キャンパスやBKCでは、入学式と並行して学部ごとに新入生歓迎企画や学生団体、クラブ、サークルによるステージ企画などが実施されました。

★入学式の詳しい模様は立命館HPの「RSWEB」からご覧いただけます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/rs/>



衣笠キャンパス



びわこ・くさつキャンパス

「キャリア形成支援を通じたグローバル人材養成プログラム」開講式を開催

5月26日(土)、びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、「キャリア形成支援を通じたグローバル人材養成プログラム」の開校式を開催しました。本プログラムは本学に通う外国人留学生24名と日本人学生32名が、7ヶ月間にわたり共同してワークすることで、グローバル展開する日本企業に就職し、活躍す



るための基礎力を身に付けることを目指しています。参加者は日本の企業のホスピタリティや企業文化を学ぶとともに、インターシッププログラムに参加。企業が海外展開する際に抱える課題の解決策をグループで練り、最終プレゼンテーションで発表します。

産業社会学部金山ゼミの学生が第3回「Campus新聞大賞」／日本財団賞を受賞

第3回「Campus新聞大賞(※)／日本財団賞」の発表が行なわれ、産業社会学部の金山勉教授のゼミに所属する学生たちが取材した記事「被災地のラジオが教えてくれたこと④⑤」が大賞(2012年2月7日、14日サンケイエクスプレス掲載)に輝きました。

金山ゼミの学生たちは、ラジオという情報メディアに着目し、東日本大震災において、ラジオはどのような役割を果たしたの

か、そして、ラジオは今後どうなっていくのかをテーマに記事を作成。数度にわたる現地取材、被災地とジャーナリズムとの狭間で悩む学生らしい姿勢が高く評価されての受賞となりました。

(※) 大学生が独自のテーマに基づきサンケイエクスプレスの紙面に記事を掲載する「Campus新聞」の企画において、優秀な紙面づくりをした大学生たちを表彰するものです。



+Rな人

多くの人たちの応援を力に、いざロンドンオリンピックへ！

渡邊大規 さん(校友・2011年経営卒)
カヌースプリント男子カヤックペア200m日本代表



「ロンドンオリンピックではメダルを狙っています」。目前に迫ったロンドンオリンピックを見据え、力強く目標を語ってくれた渡邊さん。2011年に行なわれたロンドンオリンピックアジア大陸最終予選では、2位以下を寄せ付けないタイムで優勝し、オリンピック出場を決め、勢いに乗っている注目の校友アスリートである。

小学4年生の頃、近くにできたカヌークラブに入部したことをきっかけにカヌーを始めた渡邊さん。切磋琢磨できる環境と指導者に恵まれ、中学校、高校と順調に成績を伸ばし、高校2年生のときにインターハイで初優勝。その後、練習環境が充実しており、ジュニアのナショナルチームの先輩たちが所属していた立命館大学に進学した。

「大学での先輩や友人との出会いは自分の成長にとって大きかったです。」と語ってくれた。高校までと違い、大学のカヌー部では高い自主性が求められる。先輩後輩関係なく、小さなことでも質問し、周りから吸収できるものは吸収していく、こうした先輩たちの貪欲な姿に刺激を受けた。「水上では、全員ライバル。先輩を追い抜くことも全く問題ありませんでした」と渡邊さんが語る環境のもと、1回生次からインカレ、日本選手権を制するなど順調に成績を伸ばしていった。そして、1回生次は北京オリンピック出場を目指すナショナルチームにも選出された。



順調に見えた競技生活であったが、3回生の頃、突然スランプが渡邊さ

んを襲った。海外遠征や国内の試合でも思うように成績が伸びない。そんな時期、カヌー一部の仲間とともに彼を支えたのは、所属する経営学部のゼミの仲間だった。同じゼミには、スキー、シンクロナイズドスイミング、レスリングなど、他の競技の日本代表として活躍する学生たちが所属しており、練習への取り組み方、モチベーションやコンディショニングの調整方法など、異種競技のトップアスリートから得たものは大きかったという。そして、何より渡邊さんの大きな力となっていたのが、アスリートではない、ゼミの友人との大学生活。ともに授業を受け、昼食をともにし、他愛もない会話をする。競技から距離を置いた普通の大学生としての生活、そして掛け値なしに活躍を喜び、全力で応援してくれるゼミの友人の存在は、渡邊さんにとって大きな力となった。

多くの友人の支えもあり、4回生次にはスランプを脱し、日本選手権優勝、世界選手権で初めてB決勝(10～18位決定戦)に進出するなど、大きな飛躍を遂げた。大学卒業後は、ナショナルチームを中心に活動し、現在はユニー株式会社に所属している。

ロンドンオリンピックでは、松下桃太郎さん(石川県体育協会)とペアを組み出場する。オリンピックを直前に控えた今、確かな手応えを感じているという。目標はあくまでメダル獲得。「自己ベストを出し、もうこれ以上漕げないというレースにしないとメダルは見えてこないと思っています」とメダル獲得への決意を語ってくれた。「校友の皆さんの応援を追い風にして頑張ります！応援よろしくお願いします」とメッセージを語ってくれた。ロンドンオリンピックでの活躍を期待せずにはられない。

立命館CLUB

立命館大学のメールマガジン「立命館CLUB」をスタートいたしました。ただいま会員募集中!!

立命館CLUBは、立命館大学の教育・研究活動や学生たちの活躍をより多くの方へ伝えるためのメール情報配信サービス(無料)です。会員登録いただくと月に2回メールが届きます。本学で輝く学生や教員へのインタビュー記事をはじめ、公開講座の招待券・オリジナルグッズのプレゼント、会員限定企画など、毎号お得な特典をご用意しています。校友はじめ立命館に関心のある方なら、どなたでも登録できます。ぜひ会員登録をお待ちしています。

立命館CLUB会員登録用HP
<http://www.ritsumei.ac.jp/rclub/>

立命館大学 心理・教育相談センター 無料相談会のご案内

立命館大学衣笠キャンパスにある心理・教育相談センターでは、無料相談会を実施します。「カウンセリングを一度受けてみたいけれど、どんな感じなのかちょっと不安」と感じておられる方に、気軽に参加いただける機会になればという思いから実施し、今回で4回目の開催となります。ご希望の方は以下を参照の上、お申し込みください。

- 日 程 2012年7月12日(木)
- 時 間 11:00～16:00の間 1人50分程度
- 場 所 立命館大学心理・教育相談センター(立命館大学衣笠キャンパス志学館1階)
- 相談内容
 - 人とうまく付き合えない
 - 何となく、どうしてよいか分からない
 - 子どもの発達で気になることがある
 - 学校になじめない
 - ストレスとどのように付き合っていけばよいか分からない
 - 自分について知りたい
 - 家族のことが心配
 - その他、教育・心理・医療に関すること

●お申し込み方法

電話での完全予約制となります。＜申し込み締め切り 7月12日(木)＞

電話番号 075-466-3430(立命館大学 心理・教育相談センター)
電話受付時間 平日(午前)10:00～11:00 (午後)13:30～17:00

※通常の相談時間は平日の13時～19時の間の50分間です。電話による完全予約制で、初回面接料は5,000円、2回目以降の相談料は3,000円になります。
※無料相談会に参加された方が引き続き相談を希望された場合、次回の相談料は、3,000円となります。

校友消息 (判明分)

叙勲2012年春

■旭日中綬章

松田昭美氏('50 専校)
元藤学院理事長

■旭日小綬章

横井健二氏('58 経済)
元奈良市議

■瑞宝小綬章

高見静治氏('61 法)
元京都府商工部長
平野之夫氏('62 経済)
元京都市総合企画局長
原田一郎氏('64 理工)
元京都市消防司監
安田高英氏('64 法)
元和歌山地検田辺支部長
尾島利一氏('65 経済)
元京都市消防正監

■旭日双光章

西山茂之氏('57 経済)
元高野町議
黒田由弘氏('62 理工)
元兵庫県測量設計業協会副会長

■瑞宝双光章

村上紘揚氏('63 文)
元公立高校長
湯川博正氏('65 文)
元宮内庁桃山陵墓監区事務所長

■瑞宝単光章

大塚 勲氏('66 法)
元大津市消防団副団長

危険業務従事者叙勲
2012年春

■瑞宝双光章

宮 守国氏('62 法)
警察功労
伊藤 孝氏('64 法)
警察功労

熊沢栄一郎氏('64 法)
警察功労

久山靖弘氏('68 法)
警察功労

久保盛一氏('69 法)
消防功労

平岡俊二氏('71 法)
消防功労

■瑞宝単光章

福田年宏氏('63 法)
警察功労
渡真利昌朗氏('64 法)
警察功労
清水昌信氏('70 法)
矯正業務功労

褒章2012年春

■黄綬褒章

大島正一郎氏('66 経営)
大島和哉研究所相談役

美濃 勉氏('66 理工)
土地家屋調査士
宮原賢一氏('73 法)
行政書士

■藍綬褒章

土方義道氏('68 文)
保護司

就任(内定含む)

甲村和博氏('70 法)
(学) 同朋学園理事長
3月1日就任
下村秀樹氏('79 経済)
ミサワホーム東京(株) 代表取締役社長
4月1日就任
早川 正氏('75 産社)
(株) 報知新聞社代表取締役社長
6月12日就任
中重健治氏('74 理工)
不二ライトメタル(株) 代表取締役社長
6月22日就任

西井生和氏('75 経営)
(株) ODKソリューションズ代表取締役社長
6月22日就任

住 伸一氏('73 理工)
三井金属エンジニアリング(株)
代表取締役社長
6月26日就任予定

吉田郁雄氏('77 経済)
(株) 滋賀銀行専務取締役
6月26日就任予定

訃報

小堀富久夫氏('45 専工)
(立命館大学名誉教授)
4月19日ご逝去。94歳

木村碩志氏('55 院工修)
(兵庫県校友会副会長、立命化友会
会長、写真研究会OB会会長)
5月10日ご逝去。82歳

高野雅文氏('59 文)
(栃木県校友会会長)
5月21日ご逝去。75歳

BOOKS

校友会へご惠贈くださいました本の中から紹介させていただきます。

◆太田明弘氏('76 経済) 著
『起死回生の家庭教育』
幻冬舎＊1200円＋税

◆川村匡由氏('69 文) 著
『改正介護保険 サービス・しくみ・
利用料がわかる本』
自由国民社＊1450円＋税
『団塊世代の地域デビュー』
(株) みらい＊1400円＋税

◆須田敏裕氏('96 法) 著
『社長は「労務トラブル」をこう防げ!』
日本実業出版社＊1500円＋税

◆谷口 巧氏('99 文) 著
『東京タワーズ』
幻冬舎＊1500円＋税

◆長谷川清氏('74 法) 編
『不動産登記実務必携2012』
民事法研究会＊4000円＋税

◆平野敦士氏('86 経営) 著
『図解会計コース⑥損益分岐点』
総合法令出版＊890円＋税

◆山崎泰正氏('61 院法修) 著
『京都府謎解き散歩』
新人物文庫＊800円＋税



立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

学生企画

2012年度春季特別展

「放射能と人類の未来」

東日本大震災は津波による未曾有の被害をもたらしたのみではなく、福島原発の事故により放射性物質が拡散し、健康や環境への影響は大きな不安を与えています。本展では、今後の日本を生きていく上で必要となる「放射能リテラシー」について、より深く考えていただくことを願い開催します。



第73回ミニ企画展示 開設20周年特別企画

わたしたちにできること
～震災1年を振り返って

東日本大震災の発生を受け、それぞれの立場から行動を起した立命館大学生たち。本展では、現地でのボランティア活動の中で、「被災者×ボランティア」から「人×人」の関係性を築くに至った彼らの取り組みを、震災でダメージを受け修復された大漁旗や写真の数々から紹介します。



第74回ミニ企画展示

夏休み企画「紙芝居」

子どもたちが楽しく鑑賞する紙芝居に、戦争はどのような影響を与えていたのでしょうか？夏休みの自由研究にもピッタリです★



会期

2012年度
春季特別展

「放射能と人類の未来」
開催中～7月27日(金)

第73回
ミニ企画展示
開設20周年
特別企画

「わたしたちにできること～震災1年を振り返って」
被災者×ボランティア? いいえ、宮城のおちゃんおばちゃんども×京都の学生
企画団体・国際ボランティア学生協会 IVUSA
開催中～7月15日(日)

第74回
ミニ企画展示

夏休み企画「紙芝居」
7月21日(土)～8月26日(日)

開館時間

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日

観覧料

一般400円(350円)/中・高生300円(250円)/小学生200円(150円)
()は20名以上の団体料金

常設展示(地階・2階)は左記展示期間以外でも見学することができます。

立命館大学国際平和ミュージアム
特別展・常設展
校友招待券
有効期間
2012年9月25日(火)まで
(校友・会費納入証明あり)
校友番号(リコー製)
No.249

大 震災以降、昨秋より観光客の入浴数もかなり戻りつつあり、立命京滋観光の会会員として殊のほか喜ばしい限りである。小生、昨秋京都市上京区役所主催のまち歩きツアーコンテンツに応募したところ、企画『大河ドラマの舞台となった聚楽第、伝承の地を歩き学びそして楽しむ』が最優秀賞を受賞。今春、役所と町歩きグループ“まいまい京都”との共催で、新人ガイドとしてまち歩きを実施した。当グループのガイドや参加者をみるとベテラン及び多くの若手校友が存在する。在学中、時間と関心が無く京都の地を味わわず卒業された各地の校友の皆様には母校の地京都を訪ね四季を楽しんで頂きたい。機会がありますれば、及ばずながら拙いガイドを担当させていただきます。「おいでやす」

(仲 治實)

広 報委員など校友活動に携わって、もう十何年だろう。そんななか、各地で開催される校友会の情報など知り得る機会に恵まれ、活動するメンバーの顔がふと思い浮かぶようになったのは、ここ数年のこと。この「りつめい」での都道府県校友会会長インタビュー掲載にはじまり、隔年で行われるようになった各地での校友大会や全国都道府県校友会会長・事務局長・幹事長会議などで全国の方と顔を合わせてコミュニケーションをとることが増えたことによる。とくに若手や女子の活発な取り組みを目のあたりにすることも多くなった。女子会なるものも都道府県を飛び越えて盛んに実施されており、校友会が面白くなったと肌で感じる。しかるべくして生まれたフレンドシップインタビュー「奇跡」の出会い。今後も期待したい。

(山岡祐子)

今 私の余暇の大半は合唱の練習に占められている。私の合唱団の先生はいくつかの大学のグリークラブ等でも指導されており、昨年の震災で被災した方たちを若い力で励ましたいと復興の曲を委嘱。「ひとつになりたい」という曲が生まれた。関西12大学の協力を得て、滋賀県栗東市のさくら大ホールで収録したものが、今YouTubeで配信されている。

9月29日には、同様に委嘱した「女声合唱とピアノの為の組曲」を、先生が指導する合唱団のジョイントコンサートとして演奏する。東北は合唱の盛んなところで、昨年6月の合唱祭には被災した高校生たちが駆けつけてくれた。彼らの澄んだ美しい歌声に会場は大きな感動に包まれ、聴いている私たちが勇気をもらった。復興への取り組みは双方向だと実感している。震災は私たち自身の生き方を問い直すきっかけになった。

(加藤美佐子)

皆 さん、工芸菓子というのはご存知でしょうか？ 五感の芸術と言われる和菓子の中でも工芸菓子は特に視覚に訴えて感動させる最高のもので、作品からは、感性を研ぎ澄まして作る職人の心意気が伝わってまいります。先日、ホテルのメインロビーに展示された工芸菓子「しだれ梅」を見ました。今にも馥郁たる香りが漂ってきそうな梅の花や可憐な蕾、枝にとまる鶯まで、繊細で、極めて写実的でありながらも、自然物とは違う人が作った温かみも感じさせる見事な作品でした。製作者は校友です。わが校では、最先端の科学技術分野で多くの校友が活躍されている一方で、こうした日本伝統の文化を守り続けて活躍されている校友もいらっしゃいます。多種多様な分野で活躍される校友の存在にはいつも励まされ本当に心強く思います。

(森 力)

50th Anniversary

経営学部創設50周年記念・経営学部校友会設立10周年記念 関連企画のご案内

経営学部は、1962年に広小路キャンパスにおいて創設され、今年で50周年を迎えました。そこで、今年度は、50年の長きにわたり多くの校友と教職員によって積み重ねられてきた営為に感謝し、2015年に計画されている大阪茨木新キャンパス(仮称)での新たな教学展開の方向性を校友の皆様と共有することを目的として、様々な記念企画を開催してまいります。

参加申し込み・お問合せ

立命館大学 経営学部事務室 担当：西上・真田
TEL: 077-561-3941
FAX: 077-561-3957

「経営学部創設50周年記念シンポジウム」 ～ 関西企業のグローバル戦略と求められる人材 ～

日 時：9月15日(土) 13:30～16:30
基調講演：竹本 正道 氏(日東電工㈱相談役、関西経済連合会労働政策委員長)
パネリスト：廣富 靖以 氏(㈱りそな銀行代表取締役副社長)
此本 臣吾 氏(㈱野村総合研究所常務執行役員、立命館大学客員教授)
竹本 正道 氏
会 場：アクセス梅田フォーラム(大阪富国生命ビル12階)
参 加：無料・定員200名

「経営学部創設50周年記念式典・祝賀会」

日 時：11月17日(土) 15:00～19:30(17:00～祝賀会)
記念講演：佐藤 茂雄 氏(大阪商工会議所会頭、京阪電気鉄道㈱取締役相談役)
会 場：ハイアット・リージェンシー京都(京都市東山区)



りつめい No.249／2012年7月号

発行所／立命館大学校友会／年4回発行

発行人／山中 諄

編集人／中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp